

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構  
令和3年度業務実績等報告書

令和4年6月

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構

目

次

1	法人の概要	1
2	報告の実施根拠法	1
3	報告の対象	1
4	報告の趣旨	2
5	評価方法の概要（評価基準）	2
6	自己評価結果	2
	（1）総合的な評定	2
	（2）中期目標期間における財務情報及び人員に関する情報	3
	（3）年度計画の項目毎の評定	
	第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	3
	第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	4
	第3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画	4
	第4 短期借入金の限度額	5
	第5 剰余金の使途	5
	第6 料金に関する事項	5
	第7 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項	6
	令和2年度の業務実績に関する評価基準	7
	令和2年度 業務実績 項目別自己評価シート	8

## 1 法人の概要

- |             |     |  |
|-------------|-----|--|
| (1) 法人名等    | 名 称 | 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構                    |
|             | 代 表 | 理事長 栗谷 義樹                              |
|             | 住 所 | 山形県酒田市あきほ町 30 番地                       |
| (2) 設立年月日   |     | 平成 20 年 4 月 1 日                        |
| (3) 設立団体    |     | 山形県及び酒田市                               |
| (4) 資本金の額   |     | 196 億 2438 万 9029 円（令和 2 年 3 月 31 日変更） |
| (5) 中期目標の期間 |     | 令和 2 年度から令和 5 年度まで（4 年間）               |
| (6) 目的及び業務  |     |  |

### ア 目 的

地方独立行政法人法に基づき、医療の提供、医療に関する調査及び研究等を行うことにより、庄内地域等の医療政策として求められる高度専門医療の提供及び当該地域における医療水準の向上を図り、もって住民の健康の維持及び増進に寄与することを目的とする。

### イ 業 務

- ① 医療の提供に関すること。
- ② 医療に関する調査及び研究に関すること。
- ③ 医療に関する技術者の研修に関すること。
- ④ 医療に関する地域への支援に関すること。
- ⑤ 災害時における医療救護に関すること。
- ⑥ 前各号に掲げる業務に附帯する業務に関すること。

## 2 報告の実施根拠法

地方独立行政法人法（平成 15 年法律第 118 号）第 28 条 第 2 項

## 3 報告の対象

令和 3 年度における地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構の年度計画に対する実績の状況

※年度計画・・・中期計画に基づき、当該年度における業務運営に関する計画を定めたもの

#### 4 報告の趣旨

地方独立行政法人法の規定に基づき、地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構（以下「病院機構」という。）が、日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院並びに日本海八幡クリニック、升田診療所、青沢診療所、松山診療所、地見興屋診療所及び飛島診療所（以下「日本海八幡クリニック等診療所」という。）を運営するにあたり、住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上及び業務運営の効率化等について自ら評価を行う。

#### 5 評価方法の概要（評価基準）

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 令和3年度の業務実績に関する評価基準（別紙のとおり）

#### 6 自己評価結果

##### （1）総合的な評定

###### ア 概況

日本海総合病院においては、救命救急センターや地域医療支援病院等の指定を受ける地域の中核病院として、安全で高度かつ専門的な急性期医療を提供した。

特に、DPC特定病院群の適用の維持による医療の質の向上を図り、急性期医療及び高度専門医療の適切な提供に取り組んだ。

日本海酒田リハビリテーション病院は、回復期医療及び慢性期医療を適切に提供するとともに、併せて通所及び訪問リハビリテーションも提供した。

日本海八幡クリニック等診療所は、それぞれの地域における唯一の医療機関として一次医療の提供及び地域住民への訪問看護等を提供した。また、地域の医療需要を考慮した体制でへき地医療を提供した。

さらに、地域医療連携推進法人日本海ヘルスケアネットへの参画により、人工透析の機能分担、地域フォーミュラリ、人事交流、急性期機能の集約化、看護管理者間の連携強化等を行い、地域の医療機関及び介護、福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提供に努めた。

###### イ 患者動向及び収支について

別添資料のとおり（令和3年度決算の概況について）

ウ 評価した項目数

総項目数 42 項目【評価 S : 6、A : 18、B : 18、C : 0、D : 0】

エ 全体評価

令和3年度計画における業務実績及び業務運営については、概ね計画どおり実施されたものとして評価する。

(2) 中期目標期間における財務情報及び人員に関する情報

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総収益（百万円）	23,901	24,873		
総費用（百万円）	22,609	23,773		
純利益（百万円）	1,291	1,100		
常勤職員数（人）	1,120	1,124		

(3) 年度計画の項目毎の評定

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

ア 評 定 A「年度計画に対する実績は計画を上回っている。」

イ 理 由

病院及び診療所による医療機能の分担と地域医療連携推進法人内での連携等により、効率的かつ効果的な業務運営を図りながら、地域の医療水準の向上に努めた。

ウ 評価した項目

① 項目数 29 項目 【評価 S : 5、A : 12、B : 12、C : 0、D : 0】

② 特筆すべき項目

- ・ 地域の医療機関及び介護、福祉施設等との連携を充実させるため、「地域医療連携推進法人日本海ヘルスケアネット」に参画し、地域フォーミュラリ、人事交流、看護管理者間の連携強化など中心的役割を担った。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、保健所から受診誘導があった患者の検体採取及び診察を積極的に受け入

れるとともに、入院については新型コロナウイルス感染症患者の専用病棟を確保し、重点医療機関として感染症患者を受入れた。また、庄内保健所や地域の医療関係者等との連携体制を構築し、クラスター発生施設への感染症専門班等の派遣を行い、感染管理助言等の支援を行った。

- ・ 連携協力医登録制度の活用などにより、かかりつけ医への紹介等連携を図り、紹介率及び逆紹介率の目標値を大幅に上回った。
- ・ 看護師の資質向上のため、認定看護師の新規取得のほか、特定行為、専門看護師研修者を育成し、目標である各種看護師資格の取得者数及び特定行為研修修了者数について、目標値を大幅に上回ることができた。
- ・ 日本海酒田リハビリテーション病院においては、回復期医療及び慢性期医療を適切に提供し、目標である回復期リハビリテーション実績指数について、目標値を大幅に上回ることができた。

## 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

ア 評 定 A「年度計画に対する実績は計画を上回っている。」

イ 理 由

診療体制の強化や、診療報酬改定等の変化に迅速に対応するなど、収益の確保に努めた。

ウ 評価した項目

① 項目数 5項目 【評価 S：0、A：3、B：2、C：0、D：0】

② 特筆すべき項目

- ・ 新たな施設基準の取得による増収を図った。
- ・ 日本海総合病院ではDPC係数等に対する分析及び評価を適切に行い、令和4年度もDPC特定病院群が適用となった。
- ・ 後発医薬品数量シェア率について、日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院ともに目標値を上回ることができた。
- ・ 退院時会計の推進等により未収金の発生防止に努めた。

## 第3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

ア 評 定 A「年度計画に対する実績は計画を上回っている。」

イ 理 由

日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院及び診療所を含む病院機構全体で、営業収支比率と経常収支比率の目

標値を上回ることができた。

ウ 評価した項目

① 項目数 1項目 【評価 S : 0、A : 1、B : 0、C : 0、D : 0】

② 特筆すべき項目

病院機構全体で、営業収支比率 104.2%、経常収支比率 104.6%と目標値を上回った。(各目標値 100%)

#### 第4 短期借入金の限度額

ア 評 定 S「年度計画に対する実績は計画を大幅に上回っている。」

イ 理 由

短期借入金の実績なし。

ウ 評価した項目

① 項目数 1項目 【評価 S : 1、A : 0、B : 0、C : 0、D : 0】

② 特筆すべき項目

計画的な資金収支に努めたため、短期借入金の必要がなかった。

#### 第5 剰余金の使途

ア 評 定 A「年度計画に対する実績は計画を上回っている。」

イ 理 由

決算剰余金については、建設改良積立金に充当し将来の施設整備及び医療機器の整備に備えた。

ウ 評価した項目

① 項目数 1項目 【評価 S : 0、A : 1、B : 0、C : 0、D : 0】

② 特筆すべき項目

病院施設の整備に充てるため建設改良積立金に充当した。

#### 第6 料金に関する事項

ア 評 定 B「年度計画に対する実績は概ね計画に合致している。」

イ 理 由

病院機構の規定に基づき料金徴収を行った。

ウ 評価した項目

① 項目数 1項目 【評価 S : 0、A : 0、B : 1、C : 0、D : 0】

② 特筆すべき項目

病院機構の規定に基づき適切に使用料を徴収した。

第7 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

ア 評 定 B「年度計画に対する実績は概ね計画に合致している。」

イ 理 由

新型コロナウイルス感染症における重点医療機関として診療提供体制等の整備を図った。

ウ 評価した項目

① 項目数 4項目 【評価 S : 0、A : 1、B : 3、C : 0、D : 0】

② 特筆すべき項目

- ・地域の医療ニーズに対応するため、新型コロナウイルス感染症における重点医療機関として診療提供体制等の整備を図った。日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院及び日本海八幡クリニック等診療所で新型コロナウイルスワクチン個別接種を実施した。
- ・前中期目標期間の繰越積立金については、施設の整備・修繕、医療機器の購入等に充てた。
- ・職員が業務に専念できるよう、院内保育所及び病児・病後児保育事業を継続して実施した。

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 令和3年度の業務実績に関する評価基準

1 令和3年度業務の実績に関する評価の基本方針

令和3年度計画の業務の実績について自己評価を行う。

2 業務の実績に関する評価の方法

計画に掲げた項目ごとに行う「項目別評価」と業務実績全体の状況について行う「全体評価」の2つを併せて行うものとする。

(1) 項目別評価は、年度計画の個別項目毎の進捗状況について、下記により評価するものとする。

① 業務の実施状況を幅広く把握し、可能な限り客観的な評価の実施に努める。

- ・目標数値がある場合はその達成度合い、定性的な目標の場合は具体的な業務実績を把握して評価する。
- ・業務実績については、その数量だけでなく、その質についても考慮する。
- ・業務実績に影響を及ぼした要因、予期せぬ事情の変化等についても考慮する。

② 判定基準として以下の5段階で評価し、原則としてその理由を付記する。

(判定基準)

「S」：計画を大幅に上回っている（目標数値110%超）

「A」：計画を上回っている（目標数値100%超110%以下）

「B」：計画に概ね合致している（目標数値90%超100%以下）

「C」：計画をやや下回っている（目標数値60%超90%以下）

「D」：計画を下回っており、大幅な改善が必要（目標数値60%以下）

(2) 全体評価

全体評価は、(1)の項目別評価の結果を踏まえ、全体的な計画の進行状況や達成について、記述式等により評価するものとする。

## 令和3年度 業務実績 項目別自己評価シート

# 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 令和3年度 業務実績評価

評価基準 「S」:計画を大幅に上回っている 「A」:計画を上回っている 「B」:計画に概ね合致している 「C」:計画をやや下回っている 「D」:計画をやや下回っており、大幅な改善が必要

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和3年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																			
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																	
<b>第1 中期計画の期間</b>																																							
令和2年4月1日から令和6年3月31日までの4年間とする。																																							
<b>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとすべき措置</b>																																							
地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構(以下「山形県・酒田市病院機構」という。)は、「安心、信頼、高度な医療提供」、「保健、医療、福祉の地域連携」、「地域に貢献する病院経営」の基本理念のもと、地域完結型医療の実現を目指し、日本海総合病院及び日本海酒田リハビリテーション病院並びに日本海八幡クリニック、升田診療所、青沢診療所、松山診療所、地見興屋診療所及び飛島診療所(以下「日本海八幡クリニック等診療所」という。)の効率的かつ効果的な業務運営に努める。また、今後の医療需要の変化に対応するため、地域の医療機関等との機能分担・連携の推進等において、診療機能や病床規模の適正化等、地域の医療提供体制の見直し等を図る場合は、設立団体と協議しながら適切に行う。	地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構(以下「山形県・酒田市病院機構」という。)は、「安心、信頼、高度な医療提供」、「保健、医療、福祉の地域連携」、「地域に貢献する病院経営」の基本理念のもと、地域完結型医療の実現を目指し、日本海総合病院及び日本海酒田リハビリテーション病院並びに日本海八幡クリニック、升田診療所、青沢診療所、松山診療所、地見興屋診療所及び飛島診療所(以下「日本海八幡クリニック等診療所」という。)の効率的かつ効果的な業務運営に努める。また、今後の医療需要の変化に対応するため、地域の医療機関等との機能分担・連携の推進等において、診療機能や病床規模の適正化等、地域の医療提供体制の見直し等を図る場合は、設立団体と協議しながら適切に行う。新型コロナウイルス感染症においては、先行きが不透明な中、今後の感染状況によっては収支に大きな影響を及ぼす可能性があり、継続的な関係機関の支援等が不可欠な状況にあるが、地域の中核的な医療機関としての機能を確保しながら、地域の医療機関等との連携のもと適切な対応に努める。																																						
<b>1 医療機能の分化・連携の推進</b>																																							
地域の医療機関等との連携を一層推進するため、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画等を通して、地域の中核的な医療機関として積極的に地域医療構想の実現と地域包括ケアシステムの構築に資する役割を担う。	地域の医療機関等との連携を一層推進するため、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画等を通して、地域の中核的な医療機関として積極的に地域医療構想の実現と地域包括ケアシステムの構築に資する役割を担う。	<p>・地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画により、引き続き、人工透析の機能分担、地域フォーミュラリ、人事交流、急性期機能の集約化、看護管理者間の連携強化、訪問看護ステーションの在り方の検討等を行い、地域の医療機関及び介護、福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提供に努めた。</p> <p>【実績】日本海ヘルスケアネット内の人事交流(令和3年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>出向元</th> <th>出向先</th> <th>職種</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健友会</td> <td>日本海総合病院</td> <td rowspan="3">医師</td> <td>3名</td> <td>平日診療</td> </tr> <tr> <td>病院機構</td> <td>健友会</td> <td>3名</td> <td>水土日の宿日直</td> </tr> <tr> <td>医師会</td> <td>日本海酒田リハ</td> <td>2名</td> <td>宿日直</td> </tr> <tr> <td>病院機構</td> <td>健友会</td> <td rowspan="2">看護師</td> <td>3名</td> <td>透析室</td> </tr> <tr> <td>病院機構</td> <td>宏友会</td> <td>3名</td> <td>診療所、老健</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】日本海ヘルスケアネット看護管理者ネットワーク会議(令和3年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動テーマ</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「この地域を感染から守る」</td> <td>日本海総合病院感染管理認定看護師による感染症対策マニュアルとゾーニングへのアドバイス 令和4年1月12日 施設訪問:ライフケア黒森 令和4年2月18日 オンライン会議:ライフケア黒森 令和4年2月22日 施設訪問:芙蓉荘 感染防止対策に関する最新情報を会議で発信し、各施設の対応やマニュアル改定に活用する</td> </tr> <tr> <td>「北庄内地域の食支援の質の向上」</td> <td>研修会を中心に誤嚥性肺炎の予防のための知識・技術を習得する 令和3年12月7日ウェブ開催:『食支援の基礎』 日本海総合病院摂食嚥下認定看護師 令和4年2月16日ウェブ開催:『口腔ケアから健康を守る』 正覚会 歯科衛生士</td> </tr> </tbody> </table>	出向元	出向先	職種	人数	備考	健友会	日本海総合病院	医師	3名	平日診療	病院機構	健友会	3名	水土日の宿日直	医師会	日本海酒田リハ	2名	宿日直	病院機構	健友会	看護師	3名	透析室	病院機構	宏友会	3名	診療所、老健	活動テーマ	活動内容	「この地域を感染から守る」	日本海総合病院感染管理認定看護師による感染症対策マニュアルとゾーニングへのアドバイス 令和4年1月12日 施設訪問:ライフケア黒森 令和4年2月18日 オンライン会議:ライフケア黒森 令和4年2月22日 施設訪問:芙蓉荘 感染防止対策に関する最新情報を会議で発信し、各施設の対応やマニュアル改定に活用する	「北庄内地域の食支援の質の向上」	研修会を中心に誤嚥性肺炎の予防のための知識・技術を習得する 令和3年12月7日ウェブ開催:『食支援の基礎』 日本海総合病院摂食嚥下認定看護師 令和4年2月16日ウェブ開催:『口腔ケアから健康を守る』 正覚会 歯科衛生士	<b>S</b>			<b>A</b>
出向元	出向先	職種	人数	備考																																			
健友会	日本海総合病院	医師	3名	平日診療																																			
病院機構	健友会		3名	水土日の宿日直																																			
医師会	日本海酒田リハ		2名	宿日直																																			
病院機構	健友会	看護師	3名	透析室																																			
病院機構	宏友会		3名	診療所、老健																																			
活動テーマ	活動内容																																						
「この地域を感染から守る」	日本海総合病院感染管理認定看護師による感染症対策マニュアルとゾーニングへのアドバイス 令和4年1月12日 施設訪問:ライフケア黒森 令和4年2月18日 オンライン会議:ライフケア黒森 令和4年2月22日 施設訪問:芙蓉荘 感染防止対策に関する最新情報を会議で発信し、各施設の対応やマニュアル改定に活用する																																						
「北庄内地域の食支援の質の向上」	研修会を中心に誤嚥性肺炎の予防のための知識・技術を習得する 令和3年12月7日ウェブ開催:『食支援の基礎』 日本海総合病院摂食嚥下認定看護師 令和4年2月16日ウェブ開催:『口腔ケアから健康を守る』 正覚会 歯科衛生士																																						

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和3年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																			
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																	
<b>2 持続的・安定的な医療の提供及び医療水準の向上</b>																																							
<b>(1) 高度専門医療・回復期医療等の充実・強化</b>																																							
<p>① 日本海総合病院は、庄内二次医療圏の中核的な医療機関として、ハイブリッド手術室の活用、ロボット支援手術や放射線治療の充実など、急性期医療及び高度専門医療の適切な提供に取り組む。</p> <p>入退院支援センターの活用や診療情報の共有化などにより、地域の他の医療機関や介護施設と連携し、入院から退院後の在宅や介護施設への移行の円滑化を図り、地域完結型の医療の実現を目指す。</p> <p>◆日本海総合病院(令和3年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>概要</th> </tr> <tr> <td>許可病床数</td> <td>一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床</td> </tr> <tr> <td>診療機能等</td> <td>・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など</td> </tr> </table> <p>※許可病床数については、病床規模の適正化等により変更する場合があります</p> <p>【目標】日本海総合病院</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>病床稼働率</td> <td>毎年度76%以上</td> </tr> </table>	項目	概要	許可病床数	一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床	診療機能等	・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など	目標とする指標	目標値	病床稼働率	毎年度76%以上	<p>① 日本海総合病院は、庄内二次医療圏の中核的な医療機関として、ハイブリッド手術室の活用、ロボット支援手術や放射線治療の充実など、急性期医療及び高度専門医療の適切な提供に取り組む。</p> <p>入退院支援センターの活用や診療情報の共有化などにより、地域の他の医療機関や介護施設と連携し、入院から退院後の在宅や介護施設への移行の円滑化を図り、地域完結型の医療の実現を目指す。</p> <p>◆日本海総合病院(令和3年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>概要</th> </tr> <tr> <td>許可病床数</td> <td>一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床</td> </tr> <tr> <td>診療機能等</td> <td>・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など</td> </tr> </table> <p>※許可病床数については、病床規模の適正化等により変更する場合があります</p> <p>【目標】日本海総合病院</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>病床稼働率</td> <td>76%以上</td> </tr> </table>	項目	概要	許可病床数	一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床	診療機能等	・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など	目標とする指標	目標値	病床稼働率	76%以上	<p>① 日本海総合病院は、庄内二次医療圏の中核的な医療機関として、ハイブリッド手術室の手術件数が179件、ロボット支援手術の件数が80件、放射線治療の件数が6,577件と高度専門医療の充実を図るとともに、併せてDPC特定病院群の適用の維持による医療の質の向上を図り、急性期医療及び高度専門医療の適切な提供に取り組んだ。</p> <p>・入退院支援センターの活用や、地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」の活用による診療情報の共有化などにより、地域の他の医療機関や介護施設と連携し、入院から退院後の在宅や介護施設への移行の円滑化を図った。</p> <p>◆日本海総合病院(令和3年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>概要</th> </tr> <tr> <td>許可病床数</td> <td>一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床</td> </tr> <tr> <td>診療機能等</td> <td>・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など</td> </tr> </table> <p>※許可病床数については、病床規模の適正化等により変更する場合があります</p> <p>・目標である病床稼働率について、目標値を上回ることができた。また、新型コロナウイルス感染症患者を考慮しない場合の病床稼働率でも81.2%と目標値を上回っている。</p> <p>【実績】病床稼働率(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> <tr> <td>73.7%</td> <td>×</td> <td>76.8%</td> <td>○</td> </tr> </table>	項目	概要	許可病床数	一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床	診療機能等	・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	73.7%	×	76.8%	○	A		A
項目	概要																																						
許可病床数	一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床																																						
診療機能等	・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など																																						
目標とする指標	目標値																																						
病床稼働率	毎年度76%以上																																						
項目	概要																																						
許可病床数	一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床																																						
診療機能等	・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など																																						
目標とする指標	目標値																																						
病床稼働率	76%以上																																						
項目	概要																																						
許可病床数	一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床																																						
診療機能等	・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など																																						
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																				
73.7%	×	76.8%	○																																				
<p>② 日本海酒田リハビリテーション病院は、回復期医療と慢性期医療を担う。回復期医療では、在宅復帰に向けた医療及びADL(日常生活動作)の向上を目的としたリハビリテーションを提供する。慢性期医療では、長期にわたり療養を必要とする患者及び重度障がい者等の受入れを行う。</p> <p>◆日本海酒田リハビリテーション病院(令和3年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>概要</th> </tr> <tr> <td>許可病床数</td> <td>医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床</td> </tr> <tr> <td>診療機能等</td> <td>・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など</td> </tr> </table> <p>※許可病床数については、病床規模の適正化等により変更する場合があります</p> <p>【目標】日本海酒田リハビリテーション病院</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>回復期リハビリテーション実績指数</td> <td>毎年度40点以上</td> </tr> </table>	項目	概要	許可病床数	医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床	診療機能等	・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など	目標とする指標	目標値	回復期リハビリテーション実績指数	毎年度40点以上	<p>② 日本海酒田リハビリテーション病院は、回復期医療と慢性期医療を担う。回復期医療では、在宅復帰に向けた医療及びADL(日常生活動作)の向上を目的としたリハビリテーションを提供する。慢性期医療では、長期にわたり療養を必要とする患者及び重度障がい者等の受入れを行う。</p> <p>◆日本海酒田リハビリテーション病院(令和3年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>概要</th> </tr> <tr> <td>許可病床数</td> <td>医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床</td> </tr> <tr> <td>診療機能等</td> <td>・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など</td> </tr> </table> <p>※許可病床数については、病床規模の適正化等により変更する場合があります</p> <p>【目標】日本海酒田リハビリテーション病院</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>回復期リハビリテーション実績指数</td> <td>40点以上</td> </tr> </table>	項目	概要	許可病床数	医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床	診療機能等	・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など	目標とする指標	目標値	回復期リハビリテーション実績指数	40点以上	<p>② 日本海酒田リハビリテーション病院は、回復期医療と慢性期医療を担い、回復期医療では、在宅復帰に向けた医療及びADL(日常生活動作)の向上を目的としたリハビリテーションを提供し、慢性期医療では、長期にわたり療養を必要とする患者及び重度障がい者等の受入れを行った。また、退院後も継続してリハビリテーションが受けられるよう、通所及び訪問リハビリテーションを提供した。</p> <p>◆日本海酒田リハビリテーション病院(令和3年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>概要</th> </tr> <tr> <td>許可病床数</td> <td>医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床</td> </tr> <tr> <td>診療機能等</td> <td>・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など</td> </tr> </table> <p>※許可病床数については、病床規模の適正化等により変更する場合があります</p> <p>・目標である回復期リハビリテーション実績指数について、目標値を大幅に上回ることができた。</p> <p>【実績】回復期リハビリテーション実績指数(日本海酒田リハビリテーション病院)</p> <table border="1"> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> <tr> <td>47.5点</td> <td>○</td> <td>46.7点</td> <td>○</td> </tr> </table>	項目	概要	許可病床数	医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床	診療機能等	・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	47.5点	○	46.7点	○	S		S
項目	概要																																						
許可病床数	医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床																																						
診療機能等	・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など																																						
目標とする指標	目標値																																						
回復期リハビリテーション実績指数	毎年度40点以上																																						
項目	概要																																						
許可病床数	医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床																																						
診療機能等	・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など																																						
目標とする指標	目標値																																						
回復期リハビリテーション実績指数	40点以上																																						
項目	概要																																						
許可病床数	医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床																																						
診療機能等	・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など																																						
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																				
47.5点	○	46.7点	○																																				

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和3年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																																																																																																																						
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																																																																																																																				
<p>③ 日本海八幡クリニック等診療所は、それぞれの地域における唯一の医療機関として一次医療の提供及び地域住民への訪問看護等を提供する。また、地域の医療需要を考慮した体制でへき地医療を提供する。</p> <p>◆日本海八幡クリニック(令和3年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科、外科、整形外科、リハビリテーション科</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)</td></tr> </table> <p>◆升田診療所、青沢診療所(令和3年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科</td></tr> </table> <p>◆松山診療所、地見興屋診療所、飛鳥診療所(令和3年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科、外科</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>松山診療所:訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療</td></tr> </table>	項目	概要	標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科	診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)	項目	概要	標榜科	内科	項目	概要	標榜科	内科、外科	診療機能等	松山診療所:訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療	<p>③ 日本海八幡クリニック等診療所は、それぞれの地域における唯一の医療機関として一次医療の提供及び地域住民への訪問看護等を提供する。また、地域の医療需要を考慮した体制でへき地医療を提供する。</p> <p>◆日本海八幡クリニック(令和3年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科、外科、整形外科、リハビリテーション科</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)</td></tr> </table> <p>◆升田診療所、青沢診療所(令和3年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科</td></tr> </table> <p>◆松山診療所、地見興屋診療所、飛鳥診療所(令和3年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科、外科</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>松山診療所:訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療</td></tr> </table>	項目	概要	標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科	診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)	項目	概要	標榜科	内科	項目	概要	標榜科	内科、外科	診療機能等	松山診療所:訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療	<p>◆日本海八幡クリニック(令和3年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科、外科、整形外科、リハビリテーション科</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)</td></tr> </table> <p>【実績】日本海八幡クリニック</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>令和元年度</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th></tr> <tr><td>延外来患者数</td><td>16,957名</td><td>15,876名</td><td>16,355名</td></tr> <tr><td>1日平均外来患者数</td><td>60.6名</td><td>54.2名</td><td>55.6名</td></tr> </table> <p>【実績】訪問看護ステーションやわた</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>令和元年度</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th></tr> <tr><td>延利用者数</td><td>3,842名</td><td>3,525名</td><td>3,193名</td></tr> <tr><td>1日平均利用者数</td><td>12.1名</td><td>11.4名</td><td>9.4名</td></tr> </table> <p>◆升田診療所、青沢診療所(令和3年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科</td></tr> </table> <p>【実績】升田診療所</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>令和元年度</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th></tr> <tr><td>延外来患者数</td><td>23名</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>1日平均外来患者数</td><td>2.3名</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table> <p>※令和2・3年度受診希望者なし</p> <p>【実績】青沢診療所</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>令和元年度</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th></tr> <tr><td>延外来患者数</td><td>58名</td><td>51名</td><td>62名</td></tr> <tr><td>1日平均外来患者数</td><td>4.8名</td><td>4.3名</td><td>5.2名</td></tr> </table> <p>◆松山診療所、地見興屋診療所、飛鳥診療所(令和3年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科、外科</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>松山診療所:訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療</td></tr> </table> <p>【実績】松山診療所</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>令和元年度</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th></tr> <tr><td>延外来患者数</td><td>3,602名</td><td>3,504名</td><td>3,456名</td></tr> <tr><td>1日平均外来患者数</td><td>17.0名</td><td>17.1名</td><td>14.6名</td></tr> </table> <p>【実績】地見興屋診療所</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>令和元年度</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th></tr> <tr><td>延外来患者数</td><td>130名</td><td>153名</td><td>111名</td></tr> <tr><td>1日平均外来患者数</td><td>3.7名</td><td>4.0名</td><td>2.9名</td></tr> </table> <p>【実績】飛鳥診療所</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>令和元年度</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th></tr> <tr><td>延外来患者数</td><td>540名</td><td>518名</td><td>458名</td></tr> <tr><td>1日平均外来患者数</td><td>3.2名</td><td>3.4名</td><td>2.6名</td></tr> </table>	項目	概要	標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科	診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	延外来患者数	16,957名	15,876名	16,355名	1日平均外来患者数	60.6名	54.2名	55.6名	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	延利用者数	3,842名	3,525名	3,193名	1日平均利用者数	12.1名	11.4名	9.4名	項目	概要	標榜科	内科	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	延外来患者数	23名	—	—	1日平均外来患者数	2.3名	—	—	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	延外来患者数	58名	51名	62名	1日平均外来患者数	4.8名	4.3名	5.2名	項目	概要	標榜科	内科、外科	診療機能等	松山診療所:訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	延外来患者数	3,602名	3,504名	3,456名	1日平均外来患者数	17.0名	17.1名	14.6名	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	延外来患者数	130名	153名	111名	1日平均外来患者数	3.7名	4.0名	2.9名	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	延外来患者数	540名	518名	458名	1日平均外来患者数	3.2名	3.4名	2.6名	A			A
項目	概要																																																																																																																																									
標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科																																																																																																																																									
診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)																																																																																																																																									
項目	概要																																																																																																																																									
標榜科	内科																																																																																																																																									
項目	概要																																																																																																																																									
標榜科	内科、外科																																																																																																																																									
診療機能等	松山診療所:訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療																																																																																																																																									
項目	概要																																																																																																																																									
標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科																																																																																																																																									
診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)																																																																																																																																									
項目	概要																																																																																																																																									
標榜科	内科																																																																																																																																									
項目	概要																																																																																																																																									
標榜科	内科、外科																																																																																																																																									
診療機能等	松山診療所:訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療																																																																																																																																									
項目	概要																																																																																																																																									
標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科																																																																																																																																									
診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)																																																																																																																																									
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																																																																																																																							
延外来患者数	16,957名	15,876名	16,355名																																																																																																																																							
1日平均外来患者数	60.6名	54.2名	55.6名																																																																																																																																							
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																																																																																																																							
延利用者数	3,842名	3,525名	3,193名																																																																																																																																							
1日平均利用者数	12.1名	11.4名	9.4名																																																																																																																																							
項目	概要																																																																																																																																									
標榜科	内科																																																																																																																																									
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																																																																																																																							
延外来患者数	23名	—	—																																																																																																																																							
1日平均外来患者数	2.3名	—	—																																																																																																																																							
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																																																																																																																							
延外来患者数	58名	51名	62名																																																																																																																																							
1日平均外来患者数	4.8名	4.3名	5.2名																																																																																																																																							
項目	概要																																																																																																																																									
標榜科	内科、外科																																																																																																																																									
診療機能等	松山診療所:訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療																																																																																																																																									
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																																																																																																																							
延外来患者数	3,602名	3,504名	3,456名																																																																																																																																							
1日平均外来患者数	17.0名	17.1名	14.6名																																																																																																																																							
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																																																																																																																							
延外来患者数	130名	153名	111名																																																																																																																																							
1日平均外来患者数	3.7名	4.0名	2.9名																																																																																																																																							
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																																																																																																																							
延外来患者数	540名	518名	458名																																																																																																																																							
1日平均外来患者数	3.2名	3.4名	2.6名																																																																																																																																							

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和3年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																				
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																		
ア 診療体制の充実																								
(ア)救急医療																								
庄内二次医療圏で唯一の救命救急センターとして、地域に信頼される救急医療の提供に努め、一般社団法人酒田地区医師会十全堂と連携を図り、夜間救急の診療体制を維持する。	庄内二次医療圏で唯一の救命救急センターとして、地域に信頼される救急医療の提供に努め、一般社団法人酒田地区医師会十全堂と連携を図り、夜間救急の診療体制を維持する。	<p>・庄内二次医療圏で唯一の救命救急センターとして、地域に信頼される救急医療の提供に努め、継続して一般社団法人酒田地区医師会十全堂と連携を図り、夜間救急の診療体制を維持した。</p> <p>・重篤な患者に対する三次救急診療を日本海総合病院の医師が担い、夜間救急外来での初期救急については一般社団法人酒田地区医師会十全堂からの応援医師が担当するなど、救命救急センター機能の充実を図り、24時間365日救急医療の提供体制を維持した。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響か、救急受診患者数は2,720名増加し、それに伴い重症患者の受診(※帰宅患者以外)割合も増加する結果となった。特に、新型コロナウイルス感染症が拡大した令和3年8月、令和4年1～2月は救急患者数の増加が顕著にあらわれたが、救急医療の提供体制を維持し、救命救急センターの責務を果たせた。</p> <p>【実績】救命救急センター延べ患者数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22,964名</td> <td>17,141名</td> <td>19,861名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】酒田地区医師会診療支援による延べ患者数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児科</td> <td>239名</td> <td>23名</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>482名</td> <td>198名</td> <td>131名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和2年10月から小児夜間診療休止</p>	令和元年度	令和2年度	令和3年度	22,964名	17,141名	19,861名		令和元年度	令和2年度	令和3年度	小児科	239名	23名	—	その他	482名	198名	131名	A			A
令和元年度	令和2年度	令和3年度																						
22,964名	17,141名	19,861名																						
	令和元年度	令和2年度	令和3年度																					
小児科	239名	23名	—																					
その他	482名	198名	131名																					

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和3年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																														
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																												
(イ)がん医療																																		
<p>患者の状態に応じ、より適切で効果的ながん医療を提供するため、手術、放射線治療及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療を提供する。また、緩和ケアセンターを中心とした体制の下、早期に適切な緩和ケアの提供に努める。さらに、がん対策の進展に貢献するため、院内がん登録及び全国がん登録を実施する。</p>	<p>① 地域がん診療連携拠点病院として、手術、放射線治療及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療を提供する。また、より適切ながん医療を提供するため、カンサーボードを定期的に開催する。</p>	<p>・地域がん診療連携拠点病院として、手術、放射線治療及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療を継続して行った。患者状態に合わせ、より高い治療効果が得られるように努め、放射線治療及び外来化学療法の延件数等が増加した。</p> <p>【実績】手術、放射線療法、外来化学療法の件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術</td> <td>1,159件</td> <td>1,149件</td> <td>1,167件</td> </tr> <tr> <td>放射線療法 (実件数)</td> <td>5,434件 (307件)</td> <td>5,978件 (241件)</td> <td>6,577件 (240件)</td> </tr> <tr> <td>外来化学療法</td> <td>6,252件</td> <td>7,114件</td> <td>7,730件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・カンサーボードを定期的に開催するとともに、山形大学医学部附属病院から腫瘍内科の医師の招集と多職種による検討を行い、より適切で効果的ながん医療の提供に努めた。</p> <p>【実績】カンサーボード実績(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>24回</td> <td>26回</td> <td>26回</td> </tr> <tr> <td>症例数</td> <td>59症例</td> <td>69症例</td> <td>163症例</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	手術	1,159件	1,149件	1,167件	放射線療法 (実件数)	5,434件 (307件)	5,978件 (241件)	6,577件 (240件)	外来化学療法	6,252件	7,114件	7,730件	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	回数	24回	26回	26回	症例数	59症例	69症例	163症例	A			A
	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																														
	手術	1,159件	1,149件	1,167件																														
放射線療法 (実件数)	5,434件 (307件)	5,978件 (241件)	6,577件 (240件)																															
外来化学療法	6,252件	7,114件	7,730件																															
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																															
回数	24回	26回	26回																															
症例数	59症例	69症例	163症例																															
<p>② 緩和ケアセンターを中心に、早期に適切な緩和ケアの提供に努める。</p>	<p>・緩和ケアセンターを中心に早期に適切な緩和ケアを提供するため、緩和ケアスクリーニングを実施し、緩和ケア医療の充実に努めた。</p> <p>【実績】緩和ケアスクリーニング実施件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>3,964件</td> <td>3,934件</td> <td>4,300件</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>447件</td> <td>465件</td> <td>671件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・国の指針に基づき、医師等に対する緩和ケア研修会を開催し、緩和ケア医療の体制の強化を図った。</p> <p>【実績】がん診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>受講済み医師数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年11月28日</td> <td>112名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	入院	3,964件	3,934件	4,300件	外来	447件	465件	671件	実施日	受講済み医師数	令和3年11月28日	112名																	
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																															
入院	3,964件	3,934件	4,300件																															
外来	447件	465件	671件																															
実施日	受講済み医師数																																	
令和3年11月28日	112名																																	
<p>③ がん対策の進展に貢献するよう、院内がん登録及び全国がん登録を実施する。</p>	<p>・がん対策の進展に貢献するよう、がん登録者を中級認定者2名体制とし、専従で1名配置した。山形県がん診療連携協議会が開催する実務者研修会へ参加し、体制の強化を図るとともに、院内がん登録及び全国がん登録を実施した。</p> <p>【実績】がん登録件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象年</td> <td>2018年症例</td> <td>2019年症例</td> <td>2020年症例</td> </tr> <tr> <td>院内がん登録</td> <td>1,858件</td> <td>1,874件</td> <td>1,881件</td> </tr> <tr> <td>全国がん登録</td> <td>1,876件</td> <td>1,885件</td> <td>1,891件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対象年	2018年症例	2019年症例	2020年症例	院内がん登録	1,858件	1,874件	1,881件	全国がん登録	1,876件	1,885件	1,891件																	
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																															
対象年	2018年症例	2019年症例	2020年症例																															
院内がん登録	1,858件	1,874件	1,881件																															
全国がん登録	1,876件	1,885件	1,891件																															

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和3年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																																								
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																																						
(ウ)脳卒中・急性心筋梗塞																																																												
① 急性期医療において内科的・外科的治療を速やかに行い、機能回復のためのリハビリテーションの早期開始に努める。	① 急性期医療において内科的・外科的治療を速やかに行い、機能回復のためのリハビリテーションの早期開始に努める。	<p>・急性期医療において内科的・外科的治療を速やかに行い、機能回復のためのリハビリテーションの早期開始に努めた。また、継続して休日のリハビリテーションを提供した。</p> <p>【実績】疾患別リハビリテーション実施状況(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> <tr> <th>実患者数</th> <th>回数</th> <th>実患者数</th> <th>回数</th> <th>実患者数</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳血管</td> <td>883名</td> <td>48,822回</td> <td>733名</td> <td>43,815回</td> <td>763名</td> <td>45,582回</td> </tr> <tr> <td>心大血管</td> <td>827名</td> <td>17,010回</td> <td>689名</td> <td>14,400回</td> <td>639名</td> <td>10,849回</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】休日のリハビリテーション実施状況(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> <tr> <th>実患者数</th> <th>回数</th> <th>実患者数</th> <th>回数</th> <th>実患者数</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳血管</td> <td>746名</td> <td>6,205回</td> <td>630名</td> <td>5,650回</td> <td>695名</td> <td>5,660回</td> </tr> <tr> <td>心大血管</td> <td>543名</td> <td>1,769回</td> <td>500名</td> <td>1,578回</td> <td>440名</td> <td>1,213回</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	脳血管	883名	48,822回	733名	43,815回	763名	45,582回	心大血管	827名	17,010回	689名	14,400回	639名	10,849回	区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	脳血管	746名	6,205回	630名	5,650回	695名	5,660回	心大血管	543名	1,769回	500名	1,578回	440名	1,213回	A			A
区 分	令和元年度			令和2年度		令和3年度																																																						
	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数																																																						
脳血管	883名	48,822回	733名	43,815回	763名	45,582回																																																						
心大血管	827名	17,010回	689名	14,400回	639名	10,849回																																																						
区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度																																																							
	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数																																																						
脳血管	746名	6,205回	630名	5,650回	695名	5,660回																																																						
心大血管	543名	1,769回	500名	1,578回	440名	1,213回																																																						
② 脳梗塞の血栓回収療法等、脳卒中に対する適切な急性期医療の提供体制を整える。	② 脳梗塞の血栓回収療法等、脳卒中に対する適切な急性期医療の提供体制を整える。	<p>・脳梗塞の血栓回収療法等、脳卒中に対する適切な急性期医療の提供体制を整え、医師、看護師、臨床工学技士等と連携し、適切かつ速やかな治療を提供した。</p> <p>【実績】血栓回収療法、t-PA実施件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>血栓回収療法</td> <td>—</td> <td>2件</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>t-PA</td> <td>24件</td> <td>16件</td> <td>26件</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	血栓回収療法	—	2件	5件	t-PA	24件	16件	26件																																														
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																																									
血栓回収療法	—	2件	5件																																																									
t-PA	24件	16件	26件																																																									
③ 酒田地区広域行政組合消防本部との連携により、12誘導心電図伝送装置を活用するなど、心筋梗塞等の早期診断に努める。	③ 酒田地区広域行政組合消防本部との連携により、12誘導心電図伝送装置を活用するなど、心筋梗塞等の早期診断に努める。	<p>・酒田及び鶴岡地区管内全ての救急隊に配備された12誘導心電図伝送装置を活用し、心筋梗塞等の早期診断に努め、重篤患者の広域搬送及び治療を行った。</p> <p>【実績】12誘導心電図伝送件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>281件</td> <td>271件</td> <td>348件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※酒田地区:平成31年2月から運用開始 ※鶴岡地区:令和2年12月から運用開始</p> <p>・急性心筋梗塞の救急患者に対して、速やかに集中治療室に転送し、迅速な救命治療を実施した。また、病院に到着する前に院内放送で心筋梗塞チームを参集し、救急搬送直後から治療にとりかかるシステムを構築している。</p> <p>【実績】経皮的冠動脈形成術及び経皮的冠動脈ステント留置術件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急性心筋梗塞に対するもの</td> <td>32件</td> <td>43件</td> <td>42件</td> </tr> </tbody> </table>	令和元年度	令和2年度	令和3年度	281件	271件	348件	区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	急性心筋梗塞に対するもの	32件	43件	42件																																												
令和元年度	令和2年度	令和3年度																																																										
281件	271件	348件																																																										
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																																									
急性心筋梗塞に対するもの	32件	43件	42件																																																									

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和3年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																																																				
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																																																		
<b>(エ)糖尿病</b>																																																																								
<p>医師、看護師及び管理栄養士等が協働して、治療又は生活習慣改善のため、糖尿病教室等の患者教育・指導を行う。</p> <table border="1"> <tr><td colspan="2">【目標】日本海総合病院</td></tr> <tr><td>目標とする指標</td><td>目標値</td></tr> <tr><td>糖尿病教室</td><td>毎年度15回以上</td></tr> </table>	【目標】日本海総合病院		目標とする指標	目標値	糖尿病教室	毎年度15回以上	<p>医師、看護師及び管理栄養士等が協働して、治療又は生活習慣改善のため、糖尿病教室等の患者教育・指導を行う。</p> <table border="1"> <tr><td colspan="2">【目標】日本海総合病院</td></tr> <tr><td>目標とする指標</td><td>目標値</td></tr> <tr><td>糖尿病教室</td><td>15回以上</td></tr> </table>	【目標】日本海総合病院		目標とする指標	目標値	糖尿病教室	15回以上	<p>・医師、看護師及び管理栄養士等が協働して、治療又は生活習慣改善のため、糖尿病教室等の患者教育・指導を行った。また、手術後の感染症合併リスクを抑えるため、手術前に血糖コントロールする糖尿病患者が増えたことにより、教育入院患者数が増加した。</p> <p>【実績】糖尿病教室(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>令和元年度</td><td>令和2年度</td><td>令和3年度</td></tr> <tr><td>開催回数</td><td>19回</td><td>10回</td><td>10回</td></tr> <tr><td>参加人数</td><td>51名</td><td>23名</td><td>28名</td></tr> </table> <p>【実績】糖尿病透析予防指導の実患者数、指導回数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>令和元年度</td><td>令和2年度</td><td>令和3年度</td></tr> <tr><td>実患者数</td><td>5名</td><td>6名</td><td>5名</td></tr> <tr><td>指導回数</td><td>11回</td><td>29回</td><td>25回</td></tr> </table> <p>【実績】教育入院患者数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr><td>令和元年度</td><td>令和2年度</td><td>令和3年度</td></tr> <tr><td>69名</td><td>119名</td><td>239名</td></tr> </table> <p>【実績】個別栄養指導件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>令和元年度</td><td>令和2年度</td><td>令和3年度</td></tr> <tr><td>入院</td><td>296件</td><td>335件</td><td>482件</td></tr> <tr><td>外来</td><td>402件</td><td>223件</td><td>220件</td></tr> <tr><td>合計</td><td>698件</td><td>558件</td><td>702件</td></tr> </table> <p>・目標である糖尿病教室について、新型コロナウイルス感染症による影響から目標値を下回ったが、糖尿病教室の参加人数や教育入院患者数は前年度より増加した。</p> <p>【実績】糖尿病教室(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr><td>令和2年度</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td></tr> <tr><td>10回</td><td>×</td><td>10回</td><td>×</td></tr> </table>	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	開催回数	19回	10回	10回	参加人数	51名	23名	28名	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	実患者数	5名	6名	5名	指導回数	11回	29回	25回	令和元年度	令和2年度	令和3年度	69名	119名	239名	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	入院	296件	335件	482件	外来	402件	223件	220件	合計	698件	558件	702件	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	10回	×	10回	×	B			B
【目標】日本海総合病院																																																																								
目標とする指標	目標値																																																																							
糖尿病教室	毎年度15回以上																																																																							
【目標】日本海総合病院																																																																								
目標とする指標	目標値																																																																							
糖尿病教室	15回以上																																																																							
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																																																					
開催回数	19回	10回	10回																																																																					
参加人数	51名	23名	28名																																																																					
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																																																					
実患者数	5名	6名	5名																																																																					
指導回数	11回	29回	25回																																																																					
令和元年度	令和2年度	令和3年度																																																																						
69名	119名	239名																																																																						
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																																																					
入院	296件	335件	482件																																																																					
外来	402件	223件	220件																																																																					
合計	698件	558件	702件																																																																					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																					
10回	×	10回	×																																																																					
<b>(オ)精神疾患</b>																																																																								
<p>地域の精神科病院等との役割分担及び連携を図りながら、身体合併症患者への診療など総合病院として担うべき精神医療を提供する。</p>	<p>地域の精神科病院等との役割分担及び連携を図りながら、身体合併症患者への診療など総合病院として担うべき精神医療を提供する。</p>	<p>・地域の精神科病院等との役割分担及び連携を図りながら、身体合併症患者への診療など総合病院として担うべき医療を提供した。</p> <p>【実績】他の精神科病院から日本海総合病院に紹介等され入院した患者数</p> <table border="1"> <tr><td>令和元年度</td><td>令和2年度</td><td>令和3年度</td></tr> <tr><td>53名</td><td>45名</td><td>51名</td></tr> </table>	令和元年度	令和2年度	令和3年度	53名	45名	51名	B			B																																																												
令和元年度	令和2年度	令和3年度																																																																						
53名	45名	51名																																																																						
<b>(カ)小児・周産期医療</b>																																																																								
<p>① 二次周産期医療機関として、他の医療機関との機能分担及び連携を図り、ハイリスク分娩の対応、母体搬送及び新生児搬送の受入れを行う</p>	<p>① 二次周産期医療機関として、他の医療機関との機能分担及び連携を図り、ハイリスク分娩の対応、母体搬送及び新生児搬送の受入れを行う</p>	<p>・二次周産期医療機関として、他の医療機関との機能分担及び連携を図り、ハイリスク分娩の対応、新型コロナウイルス感染症の妊婦受入れなど、周産期に係る高度な産科医療を提供した。また、新型コロナウイルス感染症の妊婦の分娩については、2件実施した。</p> <p>【実績】母体・新生児救急受入れ患者数等状況(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>令和元年度</td><td>令和2年度</td><td>令和3年度</td></tr> <tr><td>母体</td><td>14名</td><td>10名</td><td>17名</td></tr> <tr><td>新生児</td><td>3名</td><td>6名</td><td>10名</td></tr> <tr><td>緊急帝王切開術</td><td>51件</td><td>38件</td><td>33件</td></tr> </table>	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	母体	14名	10名	17名	新生児	3名	6名	10名	緊急帝王切開術	51件	38件	33件	A			B																																																		
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																																																					
母体	14名	10名	17名																																																																					
新生児	3名	6名	10名																																																																					
緊急帝王切開術	51件	38件	33件																																																																					
<p>② 地域の住民が安心して出産し、かつ子育てができるよう良質な医療を提供するとともに、三次周産期医療機関である総合周産期母子医療センター及び地域周産期母子医療センターとの連携を図る。</p>	<p>② 地域の住民が安心して出産し、かつ子育てができるよう良質な医療を提供するとともに、三次周産期医療機関である総合周産期母子医療センター及び地域周産期母子医療センターとの連携を図る。</p>	<p>・産科及び小児科の専門医の充実した体制により、地域の住民が安心して出産できる環境を提供した。</p> <p>・三次周産期医療機関である山形県立中央病院及び鶴岡市立荘内病院との連携を図り、母体の救急搬送を適切に行った。</p> <p>【実績】母体・新生児の救急搬送患者数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>令和元年度</td><td>令和2年度</td><td>令和3年度</td></tr> <tr><td>母体</td><td>14名</td><td>12名</td><td>7名</td></tr> <tr><td>新生児</td><td>2名</td><td>2名</td><td>0名</td></tr> </table>	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	母体	14名	12名	7名	新生児	2名	2名	0名																																																										
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																																																					
母体	14名	12名	7名																																																																					
新生児	2名	2名	0名																																																																					

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和3年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																												
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																										
<b>(キ)回復期リハビリテーション</b>																																																
脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等により障がいが生じた患者のADLを改善し、早期に在宅療養又は社会復帰ができるよう、リハビリテーションを集中的に提供する。	脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等により障がいが生じた患者のADLを改善し、早期に在宅療養又は社会復帰ができるよう、リハビリテーションを集中的に提供する。	<p>・脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等により障がいが生じた患者のADL(日常生活動作)を改善し、早期に在宅療養又は社会復帰ができるよう、リハビリテーションを集中的に提供した。</p> <p>【実績】疾患別リハビリテーション実施状況(日本海酒田リハビリテーション病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> <tr> <th>実患者数</th> <th>回数</th> <th>実患者数</th> <th>回数</th> <th>実患者数</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳血管リハ</td> <td>259名</td> <td>83,432回</td> <td>236名</td> <td>87,764回</td> <td>237名</td> <td>86,837回</td> </tr> <tr> <td>運動器リハ</td> <td>212名</td> <td>53,809回</td> <td>200名</td> <td>54,944回</td> <td>221名</td> <td>57,168回</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	脳血管リハ	259名	83,432回	236名	87,764回	237名	86,837回	運動器リハ	212名	53,809回	200名	54,944回	221名	57,168回	A			A															
区分	令和元年度			令和2年度		令和3年度																																										
	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数																																										
脳血管リハ	259名	83,432回	236名	87,764回	237名	86,837回																																										
運動器リハ	212名	53,809回	200名	54,944回	221名	57,168回																																										
<b>(ク)在宅医療支援及び療養支援</b>																																																
① 退院後、在宅療養へ患者が円滑に移行し、切れ目なくサービスの提供を受けることができるよう、入院初期から積極的に支援を行う。	① 退院後、在宅療養へ患者が円滑に移行し、切れ目なくサービスの提供を受けることができるよう、入院初期から積極的に支援を行う。	<p>・退院後、患者が在宅療養へ円滑に移行し、切れ目なくサービスを受けることができるよう、入退院支援センターの看護師を1名増員し、看護師8名及び医療福祉相談室の社会福祉士2名(退院支援職員)が、地域の介護・福祉・医療機関との連携を図りながら、患者との退院調整業務を行った。</p> <p>・入退院支援センターでは、令和3年6月から病棟での患者評価業務等を入院前に実施し、入院初日から患者に合わせた療養環境での看護を開始する取り組みを行った。新型コロナウイルス感染症の影響下にあっても、関係各所と連携を密に図ることで、患者や患者家族が希望する退院先へ送り出すことができた。入退院支援センターでは退院支援などの業務にあたり、患者や患者家族の不安を取り除いている。</p> <p>【実績】入院前スクリーニング実施件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>777名</td> <td>6,317名</td> <td>5,752名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※入退院支援センター:令和2年2月17日から運用開始</p> <p>【実績】退院調整件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>他病院</td> <td>1,189件</td> <td>925件</td> <td>927件</td> </tr> <tr> <td>在宅</td> <td>13,684件</td> <td>12,426件</td> <td>12,862件</td> </tr> <tr> <td>介護老人保健施設</td> <td>83件</td> <td>95件</td> <td>134件</td> </tr> <tr> <td>介護老人福祉施設</td> <td>189件</td> <td>131件</td> <td>106件</td> </tr> <tr> <td>ショートステイ</td> <td>97件</td> <td>91件</td> <td>120件</td> </tr> <tr> <td>有料老人ホーム</td> <td>259件</td> <td>216件</td> <td>261件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>99件</td> <td>110件</td> <td>68件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>15,600件</td> <td>13,994件</td> <td>14,478件</td> </tr> </tbody> </table>	令和元年度	令和2年度	令和3年度	777名	6,317名	5,752名	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	他病院	1,189件	925件	927件	在宅	13,684件	12,426件	12,862件	介護老人保健施設	83件	95件	134件	介護老人福祉施設	189件	131件	106件	ショートステイ	97件	91件	120件	有料老人ホーム	259件	216件	261件	その他	99件	110件	68件	合計	15,600件	13,994件	14,478件	A			A
令和元年度	令和2年度	令和3年度																																														
777名	6,317名	5,752名																																														
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																													
他病院	1,189件	925件	927件																																													
在宅	13,684件	12,426件	12,862件																																													
介護老人保健施設	83件	95件	134件																																													
介護老人福祉施設	189件	131件	106件																																													
ショートステイ	97件	91件	120件																																													
有料老人ホーム	259件	216件	261件																																													
その他	99件	110件	68件																																													
合計	15,600件	13,994件	14,478件																																													
② 在宅患者が安心して地域で療養ができるよう、通所及び訪問リハビリテーションを実施する。また、在宅医療を行っている診療所等で、入院治療が必要となった患者の受入れなどの支援を行う。	② 在宅患者が安心して地域で療養ができるよう、通所及び訪問リハビリテーションを実施する。また、在宅医療を行っている診療所等で、入院治療が必要となった患者の受入れなどの支援を行う。	<p>・在宅患者が安心して地域で療養できるよう、通所及び訪問リハビリテーションを実施した。</p> <p>【実績】通所及び訪問リハビリテーション延べ利用者数(日本海酒田リハビリテーション病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通所リハ</td> <td>4,091名</td> <td>3,841名</td> <td>3,095名</td> </tr> <tr> <td>訪問リハ</td> <td>167名</td> <td>229名</td> <td>179名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※訪問リハビリテーション:令和元年7月から開始</p> <p>・在宅医療を行っている診療所と連携を図り、入院治療が必要となった患者の受入れを適切に行い、レスパイト入院などが増加した。</p> <p>【実績】診療所等からの入院受入患者数(日本海酒田リハビリテーション病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9名</td> <td>6名</td> <td>28名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	通所リハ	4,091名	3,841名	3,095名	訪問リハ	167名	229名	179名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	9名	6名	28名																												
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																													
通所リハ	4,091名	3,841名	3,095名																																													
訪問リハ	167名	229名	179名																																													
令和元年度	令和2年度	令和3年度																																														
9名	6名	28名																																														

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和3年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																		
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																
<b>(ケ)一次医療とプライマリ・ケアの提供、充実</b>																																						
へき地医療等、地域医療の維持、確保のため、診療所が設置されている各地域において、日常的な病気やけが等の患者に医療とプライマリ・ケアを提供し、必要に応じて高度及び専門医療機関等に紹介するなど連携を図る。	へき地医療等、地域医療の維持、確保のため、診療所が設置されている各地域において、日常的な病気やけが等の患者に医療とプライマリ・ケアを提供し、必要に応じて高度及び専門医療機関等に紹介するなど連携を図る。	<p>・診療所が設置されている各地域において、へき地医療等、地域医療の維持、確保を図り、一次医療の提供を行った。また、各診療所においては、総合診療を行うプライマリ・ケアを提供し、必要に応じて高度及び専門医療機関に紹介するなど、連携した医療の提供を行った。</p> <p>【実績】日本海総合病院への紹介件数(日本海八幡クリニック等診療所)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海八幡クリニック</td> <td>353件</td> <td>321件</td> <td>337件</td> </tr> <tr> <td>松山診療所</td> <td>77件</td> <td>86件</td> <td>80件</td> </tr> <tr> <td>飛島診療所</td> <td>5件</td> <td>15件</td> <td>15件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】日本海総合病院以外への紹介件数(日本海八幡クリニック等診療所)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海八幡クリニック</td> <td>113件</td> <td>123件</td> <td>132件</td> </tr> <tr> <td>松山診療所</td> <td>37件</td> <td>28件</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>飛島診療所</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	日本海八幡クリニック	353件	321件	337件	松山診療所	77件	86件	80件	飛島診療所	5件	15件	15件	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	日本海八幡クリニック	113件	123件	132件	松山診療所	37件	28件	22件	飛島診療所	—	—	—	B			B
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																			
日本海八幡クリニック	353件	321件	337件																																			
松山診療所	77件	86件	80件																																			
飛島診療所	5件	15件	15件																																			
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																			
日本海八幡クリニック	113件	123件	132件																																			
松山診療所	37件	28件	22件																																			
飛島診療所	—	—	—																																			
<b>イ 高度医療機器の計画的な更新・整備</b>																																						
高度専門医療等の充実のため、中期計画期間中における医療機器の更新、整備計画を策定するとともに、高額医療機器については、利用見込みや収支予測を行い計画的な更新、整備を行う。	高度専門医療等の充実のため、中期計画期間中における医療機器の更新、整備計画を策定するとともに、高額医療機器については、利用見込みや収支予測を行い計画的な更新、整備を行う。	<p>・高度専門医療等の医療機器の更新にあたっては、整備計画を策定し、それに従い整備を行った。財源としては起債及び剰余金を活用した。</p> <p>・高度医療機器については、超電導磁気共鳴画像診断装置、手術用顕微鏡、心血管X線診断装置等、医療機器整備計画及び利用見込み並びに収支予測を行い、計画的に更新・整備を行った。</p>	B			B																																

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和3年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																													
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																											
ウ 災害時や健康危機における医療協力																																	
<p>① 災害拠点病院として機能するよう、定期的に災害対応訓練を実施するとともに、災害時に必要な医療物資等の備蓄を行う。また大規模災害発生時には、県の要請等に基づき、DMAT(災害派遣医療チーム)等の現地派遣及びSCU(航空搬送拠点臨時医療施設)の運営に協力するなど医療支援活動を行う。</p>	<p>① 災害拠点病院として機能するよう、定期的に災害対応訓練を実施するとともに、災害時に必要な医療物資等の備蓄を行う。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症の拡大により、例年実施している災害医療対応訓練(机上・実働訓練)については、実施できなかったが、動画配信による研修を行うなど、災害拠点病院として機能するよう、災害時の対応に備えた。</p> <p>【実績】災害医療研修及び訓練(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>内容</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年7月8日</td> <td>(災害医療研修会・動画配信) 災害医療の基礎とトリアージ</td> <td>744名</td> </tr> <tr> <td>毎月(※計12回)</td> <td>(災害対応訓練) オクレンジャーを活用した緊急連絡・安否確認訓練</td> <td>1,296名</td> </tr> <tr> <td>令和4年1月19日</td> <td>(災害医療講演会) 熊本地震に学ぶ急性期病院の災害対応</td> <td>69名</td> </tr> <tr> <td>令和4年3月9日</td> <td>(災害医療研修会) 衛星電話使用訓練</td> <td>10名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・災害時に必要な医療物資について、医療物資等及び食料の備蓄を実施するとともに、燃料等の優先納入契約に関する協定を継続した。</p> <p>【実績】医療物資等及び食料の備蓄(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>災害備蓄品カロリーメイトロングライフ(2本/60箱) 57ケース</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>白米40ケース・五目御飯20ケース・防災食1,000パック・野菜カレー1,020パック他</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】燃料等の優先納入契約に関する協定(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>締結日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年4月1日</td> <td>災害時におけるA重油の優先供給に関する協定</td> </tr> <tr> <td>令和3年4月1日</td> <td>災害時におけるガソリン等の優先供給に関する協定</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	内容	参加人数	令和3年7月8日	(災害医療研修会・動画配信) 災害医療の基礎とトリアージ	744名	毎月(※計12回)	(災害対応訓練) オクレンジャーを活用した緊急連絡・安否確認訓練	1,296名	令和4年1月19日	(災害医療講演会) 熊本地震に学ぶ急性期病院の災害対応	69名	令和4年3月9日	(災害医療研修会) 衛星電話使用訓練	10名	年度	内容	令和2年度	災害備蓄品カロリーメイトロングライフ(2本/60箱) 57ケース	令和3年度	白米40ケース・五目御飯20ケース・防災食1,000パック・野菜カレー1,020パック他	締結日	内容	令和3年4月1日	災害時におけるA重油の優先供給に関する協定	令和3年4月1日	災害時におけるガソリン等の優先供給に関する協定	A			B
		実施日	内容	参加人数																													
令和3年7月8日	(災害医療研修会・動画配信) 災害医療の基礎とトリアージ	744名																															
毎月(※計12回)	(災害対応訓練) オクレンジャーを活用した緊急連絡・安否確認訓練	1,296名																															
令和4年1月19日	(災害医療講演会) 熊本地震に学ぶ急性期病院の災害対応	69名																															
令和4年3月9日	(災害医療研修会) 衛星電話使用訓練	10名																															
年度	内容																																
令和2年度	災害備蓄品カロリーメイトロングライフ(2本/60箱) 57ケース																																
令和3年度	白米40ケース・五目御飯20ケース・防災食1,000パック・野菜カレー1,020パック他																																
締結日	内容																																
令和3年4月1日	災害時におけるA重油の優先供給に関する協定																																
令和3年4月1日	災害時におけるガソリン等の優先供給に関する協定																																
<p>② 大規模災害発生時には、県の要請等に基づき、DMAT(災害派遣医療チーム)等の現地派遣及びSCU(航空搬送拠点臨時医療施設)の運営に協力するなど医療支援活動を行う。</p>	<p>・大規模災害発生時には、県の要請等によるDMAT(災害派遣医療チーム)等の現地派遣要請への備え、大規模地震時医療活動訓練や各種研修会に参加し、職員の技能維持等に取り組んだ。</p> <p>・SCU(航空搬送拠点臨時医療施設)の運営協力として、山形県所有のSCU医療資材について、日本海総合病院で保管と点検等を実施し、緊急時に備えた。</p>																																
<p>② 地域住民の生命を脅かす新たな感染症や薬物・食中毒等の健康危機事象が発生したときは、関係機関との緊密な連携のもと迅速な対応ができるよう、定期的に訓練や研修を行う。</p>	<p>③ 地域住民の生命を脅かす新たな感染症や薬物・食中毒等の健康危機事象が発生したときは、関係機関との緊密な連携のもと迅速な対応ができるよう、定期的に訓練や研修を行う。</p>	<p>・地域住民の生命を脅かす新たな感染症や薬物・食中毒等の健康危機事象が発生したときは、関係機関との緊密な連携のもと迅速な対応を行った。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大により、関係機関と合同訓練等は実施できなかったが、ウェブ会議を通して、定期的に庄内保健所や地域の医療関係者、各自治体と感染症発生状況等の情報共有を行い、関係機関との連携体制を構築した。</p> <p>・山形県等の要請により、感染管理に精通した医師や看護師等で構成する感染症専門班等をクラスター発生施設に派遣し、感染管理助言等の支援を行った。</p> <p>【実績】クラスター発生施設への感染症専門班等の派遣(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>依頼元</th> <th>派遣先</th> <th>期間</th> <th>職種</th> <th>延べ動員数</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">山形県</td> <td rowspan="3">特別養護老人ホーム(1施設)</td> <td rowspan="3">令和4年1月15日～19日</td> <td>医師</td> <td>4日</td> <td rowspan="3">・感染管理面からのゾーニング等に関すること</td> </tr> <tr> <td>感染管理認定看護師</td> <td>5日</td> </tr> <tr> <td>事務職</td> <td>2日</td> </tr> <tr> <td>山形県看護協会</td> <td>特別養護老人ホーム(1施設)</td> <td>令和4年1月19日～25日</td> <td>看護師</td> <td>5日</td> <td>・施設利用者の看護に関すること</td> </tr> <tr> <td>山形県</td> <td>特別養護老人ホーム(2施設) 小規模多機能型居宅介護事業所(1施設)</td> <td>令和4年2月8日～3月29日</td> <td>感染管理認定看護師</td> <td>3日</td> <td>・ゾーニングの状況確認等 ・ゾーニング及びPPE着脱等の感染防止対策指導等</td> </tr> </tbody> </table>	依頼元	派遣先	期間	職種	延べ動員数	活動内容	山形県	特別養護老人ホーム(1施設)	令和4年1月15日～19日	医師	4日	・感染管理面からのゾーニング等に関すること	感染管理認定看護師	5日	事務職	2日	山形県看護協会	特別養護老人ホーム(1施設)	令和4年1月19日～25日	看護師	5日	・施設利用者の看護に関すること	山形県	特別養護老人ホーム(2施設) 小規模多機能型居宅介護事業所(1施設)	令和4年2月8日～3月29日	感染管理認定看護師	3日	・ゾーニングの状況確認等 ・ゾーニング及びPPE着脱等の感染防止対策指導等			
依頼元	派遣先	期間	職種	延べ動員数	活動内容																												
山形県	特別養護老人ホーム(1施設)	令和4年1月15日～19日	医師	4日	・感染管理面からのゾーニング等に関すること																												
			感染管理認定看護師	5日																													
			事務職	2日																													
山形県看護協会	特別養護老人ホーム(1施設)	令和4年1月19日～25日	看護師	5日	・施設利用者の看護に関すること																												
山形県	特別養護老人ホーム(2施設) 小規模多機能型居宅介護事業所(1施設)	令和4年2月8日～3月29日	感染管理認定看護師	3日	・ゾーニングの状況確認等 ・ゾーニング及びPPE着脱等の感染防止対策指導等																												
<p>【目標】日本海総合病院</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害等に係る訓練及び研修</td> <td>毎年度4回以上</td> </tr> </tbody> </table>	目標とする指標	目標値	災害等に係る訓練及び研修	毎年度4回以上	<p>【目標】日本海総合病院</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害等に係る訓練及び研修</td> <td>4回以上</td> </tr> </tbody> </table>	目標とする指標	目標値	災害等に係る訓練及び研修	4回以上	<p>・目標である災害等に係る訓練及び研修について、Zoomや動画配信によるeラーニングを活用し、目標値どおり実施することができた。</p> <p>【実績】災害等に係る訓練及び研修回数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3回</td> <td>×</td> <td>4回</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	3回	×	4回	○															
目標とする指標	目標値																																
災害等に係る訓練及び研修	毎年度4回以上																																
目標とする指標	目標値																																
災害等に係る訓練及び研修	4回以上																																
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																														
3回	×	4回	○																														

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和3年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価														
<b>エ 政策医療の実施</b>																				
① 第二種感染症指定医療機関として感染症に迅速かつ的確に対応するため、受入体制及び備品等の整備に努める。	① 第二種感染症指定医療機関として感染症に迅速かつ的確に対応するため、受入体制及び備品等の整備に努める。 新型コロナウイルス感染症への対応については、県、市及び地域の医療機関等と連携を図りながら、重点医療機関として患者の受け入れや病床確保等の体制を整え、今後の進展等、状況に応じて迅速かつ柔軟な対応に努める。	<p>・第二種感染症指定医療機関として、新型コロナウイルス感染症接触者の検体採取及び感染者の診察を積極的に受け入れるとともに、入院については、新型コロナウイルス感染症患者の専用病床を確保し、重点医療機関として患者の受入を行った。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の透析治療患者を受け入れるため、専用病床内に透析治療用の病室を整備し、迅速かつ的確に対応した。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大時には、酒田地区医師会と連携し、自宅療養に係る電話診療の運用フローを迅速に整備し、トリアージ診療の実施及び他のトリアージ診療医療機関との調整を行った。</p> <p>【実績】新型コロナウイルス感染症患者の受入等(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二類感染症患者入院診療加算延べ算定患者数(新型コロナウイルス感染症患者除く)</td> <td>118名</td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症に係る検査延べ人数</td> <td>6,403件</td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症による延べ入院患者数(うち透析治療患者数)</td> <td>3,336名 7名</td> </tr> <tr> <td>自宅療養に係る開業医への紹介件数(電話診療)</td> <td>1,976名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	人数等	二類感染症患者入院診療加算延べ算定患者数(新型コロナウイルス感染症患者除く)	118名	新型コロナウイルス感染症に係る検査延べ人数	6,403件	新型コロナウイルス感染症による延べ入院患者数(うち透析治療患者数)	3,336名 7名	自宅療養に係る開業医への紹介件数(電話診療)	1,976名	S			S				
区分	人数等																			
二類感染症患者入院診療加算延べ算定患者数(新型コロナウイルス感染症患者除く)	118名																			
新型コロナウイルス感染症に係る検査延べ人数	6,403件																			
新型コロナウイルス感染症による延べ入院患者数(うち透析治療患者数)	3,336名 7名																			
自宅療養に係る開業医への紹介件数(電話診療)	1,976名																			
② 認知症疾患医療センターとして、認知症疾患に関する鑑別診断とその初期対応、周辺症状と身体合併症の急性期治療、専門医療相談等を実施する。	② 認知症疾患医療センターとして、認知症疾患に関する鑑別診断とその初期対応、周辺症状と身体合併症の急性期治療、専門医療相談等を実施する。	<p>・認知症疾患医療センターとして、認知症患者の状況等に応じた専門医療相談、鑑別診断等を実施した。</p> <p>【実績】認知症疾患医療センター相談件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規</td> <td>472件</td> <td>315件</td> <td>442件</td> </tr> <tr> <td>継続</td> <td>225件</td> <td>218件</td> <td>207件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	新規	472件	315件	442件	継続	225件	218件	207件	B			B		
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																	
新規	472件	315件	442件																	
継続	225件	218件	207件																	
③ 精神疾患及び身体合併症を伴う精神疾患患者に対する精神医療提供体制をより充実させるため、精神病床設置について検討する。	③ 精神疾患及び身体合併症を伴う精神疾患患者に対する精神医療提供体制をより充実させるため、精神病床設置について検討する。	<p>・精神疾患及び身体合併症を伴う精神疾患患者に対する精神医療提供体制の充実のための精神病床設置について、新型コロナウイルス感染症の動向等を鑑み、検討を保留することとした。</p>	B			B														
④ 脳死下臓器移植について、臓器提供施設として定期的に研修等を実施する。	④ 脳死下臓器移植について、臓器提供施設として定期的に研修等を実施する。	<p>・脳死下臓器移植について、提供施設として山形県臓器移植推進機構の協力を得ながら、院内コーディネーター及び全職員が参加可能な研修会をe-ラーニングで実施した。</p> <p>【実績】臓器移植研修会(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>内容</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年2月28日～ 令和4年3月31日</td> <td>「臓器移植におけるSDGsを考える ～腎移植を受けた腎臓内科医による取り組み～」 講師:長野県佐久総合病院 腎臓内科 村上 穂氏</td> <td>549名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・目標である脳死判定シミュレーション等臓器提供に係る研修について、目標値どおり実施することができた。</p> <p>【実績】脳死判定シミュレーション等臓器提供に係る研修回数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2回</td> <td>○</td> <td>1回</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	内容	参加人数	令和4年2月28日～ 令和4年3月31日	「臓器移植におけるSDGsを考える ～腎移植を受けた腎臓内科医による取り組み～」 講師:長野県佐久総合病院 腎臓内科 村上 穂氏	549名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	2回	○	1回	○	B			A
実施日	内容	参加人数																		
令和4年2月28日～ 令和4年3月31日	「臓器移植におけるSDGsを考える ～腎移植を受けた腎臓内科医による取り組み～」 講師:長野県佐久総合病院 腎臓内科 村上 穂氏	549名																		
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																	
2回	○	1回	○																	

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和3年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																		
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																
(2) 医療スタッフの確保及び資質向上																																						
ア 医療人材の確保・育成																																						
① 高度専門医療等の安定的な提供を図るため、医師、薬剤師、看護師に加え、診療放射線技師、臨床検査技師などの医療従事者の適切な人員確保に努める。	① 高度専門医療等の安定的な提供を図るため、医師、薬剤師、看護師に加え、診療放射線技師、臨床検査技師などの医療従事者の適切な人員確保に努める。	<p>・高度専門医療等の安定的な提供を図るため、医師、薬剤師、看護師のほか医療職8職種の募集、職員採用試験を計画的に実施し、医療従事者の確保に努めた。</p> <p>・採用実績は、看護師35名、医療技術者については計17名の職員を確保した。(医師、事務職除く)</p> <p>【実績】採用者人数(令和3年度採用試験)</p> <table border="1"> <tr> <th>職 種</th> <th>令和3年7月採用数</th> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <th>職 種</th> <th>令和3年11月採用数</th> </tr> <tr> <td>社会福祉士</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <th>職 種</th> <th>令和4年4月採用数</th> </tr> <tr> <td>初期臨床研修医・歯科医師臨床研修医</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>35名</td> </tr> <tr> <td>診療放射線技師</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>言語聴覚士</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>社会福祉士</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>63名</td> </tr> </table>	職 種	令和3年7月採用数	臨床検査技師	1名	職 種	令和3年11月採用数	社会福祉士	1名	職 種	令和4年4月採用数	初期臨床研修医・歯科医師臨床研修医	13名	薬剤師	1名	看護師	35名	診療放射線技師	2名	臨床検査技師	3名	理学療法士	2名	作業療法士	3名	言語聴覚士	1名	臨床工学技士	2名	社会福祉士	1名	計	63名	S			A
職 種	令和3年7月採用数																																					
臨床検査技師	1名																																					
職 種	令和3年11月採用数																																					
社会福祉士	1名																																					
職 種	令和4年4月採用数																																					
初期臨床研修医・歯科医師臨床研修医	13名																																					
薬剤師	1名																																					
看護師	35名																																					
診療放射線技師	2名																																					
臨床検査技師	3名																																					
理学療法士	2名																																					
作業療法士	3名																																					
言語聴覚士	1名																																					
臨床工学技士	2名																																					
社会福祉士	1名																																					
計	63名																																					
② 医師の働き方改革の動向を踏まえ、看護師の特定行為研修修了者を積極的に活用するなど環境の整備を図る。	② 医師の働き方改革の動向を踏まえ、看護師の特定行為研修修了者を積極的に活用するなど環境の整備を図る。	<p>・医師の働き方改革の動向を踏まえ、特定行為管理委員会において、看護師の特定行為研修修了者を積極的に活用するための環境を整備し、医師の負担軽減を図った。</p> <p>【実績】特定行為実施件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>特定行為</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>侵襲的陽圧換気の設定の変更</td> <td>182件</td> </tr> <tr> <td>人工呼吸器からの離脱</td> <td>82件</td> </tr> <tr> <td>気管カニューレの交換</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換</td> <td>42件</td> </tr> <tr> <td>膀胱ろうカテーテルの交換</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>創傷に対する陰圧閉鎖療法</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>創部ドレーンの抜去</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>直接動脈穿刺法による採血</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>橈骨動脈ラインの確保</td> <td>129件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>454件</td> </tr> </tbody> </table>	特定行為	件数	侵襲的陽圧換気の設定の変更	182件	人工呼吸器からの離脱	82件	気管カニューレの交換	3件	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	42件	膀胱ろうカテーテルの交換	7件	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	3件	創傷に対する陰圧閉鎖療法	3件	創部ドレーンの抜去	2件	直接動脈穿刺法による採血	1件	橈骨動脈ラインの確保	129件	合計	454件												
特定行為	件数																																					
侵襲的陽圧換気の設定の変更	182件																																					
人工呼吸器からの離脱	82件																																					
気管カニューレの交換	3件																																					
胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	42件																																					
膀胱ろうカテーテルの交換	7件																																					
褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	3件																																					
創傷に対する陰圧閉鎖療法	3件																																					
創部ドレーンの抜去	2件																																					
直接動脈穿刺法による採血	1件																																					
橈骨動脈ラインの確保	129件																																					
合計	454件																																					
③ 初期臨床研修医及び専攻医(専門分野の研修医)を積極的に受け入れるなど、医師の確保に努める。	③ 初期臨床研修医及び専攻医(専門分野の研修医)を積極的に受け入れるなど、医師の確保に努める。	<p>・専門医制度の基幹病院として、研修実施可能な3診療科(内科、外科、産婦人科)の専門研修プログラムに基づき、後期臨床研修医(専攻医)を受け入れた。県内外の協力施設での研修やたすきがけ医の受入れ等、他施設との連携も行った。また、専攻医の専門研修については、基幹施設を中心に、他の県立病院を専門研修連携施設として実施するなど、初期臨床研修医及び専攻医を積極的に受入れ、医師の確保に努めた。</p> <p>【実績】臨床研修医及び専攻医(レジデント)受入れ人数</p> <table border="1"> <tr> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> <tr> <td>67名</td> <td>68名</td> <td>68名</td> </tr> </table> <p>※内訳: 臨床研修医26名、専攻医(レジデント)42名</p>	令和元年度	令和2年度	令和3年度	67名	68名	68名																														
令和元年度	令和2年度	令和3年度																																				
67名	68名	68名																																				

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和3年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																																																	
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																																															
④ 教育・研修体制の充実及び自己研鑽・研究のサポート体制の充実に努め、各職種の専門性の向上を図る。	④ 教育・研修体制の充実及び自己研鑽・研究のサポート体制の充実に努め、各職種の専門性の向上を図る。	・教育・研修体制の充実及び自己研鑽・研究のサポート体制の充実に努め、各職種の専門性の向上を図るため、e-ラーニングを利用した役職別研修や各部門独自で専門能力を高める研修を実施した。																																																																			
⑤ 看護師や助産師の育成及び確保のため、看護師等修学資金貸与制度を継続して実施する。	⑤ 看護師や助産師の育成及び確保のため、看護師等修学資金貸与制度を継続して実施する。	・看護師及び助産師を育成・確保するため、看護師等修学資金貸与を継続して行い、新規貸与者5名を含む計15名に修学資金の貸与を実施し、貸与終了者4名が当機構職員として入職した。  【実績】看護師等修学資金の貸与 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸与者</td> <td>16名</td> <td>14名</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>入職者</td> <td>8名</td> <td>4名</td> <td>4名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	貸与者	16名	14名	15名	入職者	8名	4名	4名																																																							
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																																																		
貸与者	16名	14名	15名																																																																		
入職者	8名	4名	4名																																																																		
⑥ 看護師の資質向上のため、専門看護師及び認定看護師の新規取得のほか、新たに看護師の特定行為研修修了者の増加を目指す。  【目標】法人全体 <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定行為研修修了者、専門看護師資格の新規取得者数又は認定看護師資格の新規取得者数</td> <td>期間中5名以上</td> </tr> <tr> <td>特定行為研修修了者</td> <td>期間中4名以上</td> </tr> </tbody> </table>	目標とする指標	目標値	特定行為研修修了者、専門看護師資格の新規取得者数又は認定看護師資格の新規取得者数	期間中5名以上	特定行為研修修了者	期間中4名以上	⑥ 看護師の資質向上のため、専門看護師及び認定看護師の新規取得及び看護師の特定行為研修修了者の増加に努める。  ・看護師の資質向上のため、認定看護師の新規取得のほか、特定行為、専門看護師研修者を育成した。 ・自施設で実施している特定行為研修(術中麻酔管理領域パッケージ)については2名受講。他施設で特定行為を含む認定看護師研修を受講した2名は、特定行為研修を修了した。  【実績】認定看護師等研修派遣 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師</td> <td>0名</td> <td>1名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>専門看護師</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>特定行為研修</td> <td>2名</td> <td>3名</td> <td>2名</td> </tr> </tbody> </table> ・目標である各種看護師資格の取得者数及び特定行為研修修了者数について、目標値を大幅に上回ることができた。  【実績】各種看護師資格の新規取得者数(法人全体) ※期間中5名以上 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td></td> <td></td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>専門看護師</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td></td> <td></td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>特定行為</td> <td>3名</td> <td>2名</td> <td></td> <td></td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4名</td> <td>3名</td> <td></td> <td></td> <td>7名</td> </tr> </tbody> </table> 【実績】特定行為研修修了者数 ※期間中4名以上 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定行為</td> <td>3名</td> <td>2名</td> <td></td> <td></td> <td>5名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	認定看護師	0名	1名	2名	専門看護師	0名	0名	1名	特定行為研修	2名	3名	2名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計	認定看護師	1名	1名			2名	専門看護師	0名	0名			0名	特定行為	3名	2名			5名	計	4名	3名			7名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計	特定行為	3名	2名			5名				
目標とする指標	目標値																																																																				
特定行為研修修了者、専門看護師資格の新規取得者数又は認定看護師資格の新規取得者数	期間中5名以上																																																																				
特定行為研修修了者	期間中4名以上																																																																				
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																																																		
認定看護師	0名	1名	2名																																																																		
専門看護師	0名	0名	1名																																																																		
特定行為研修	2名	3名	2名																																																																		
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計																																																																
認定看護師	1名	1名			2名																																																																
専門看護師	0名	0名			0名																																																																
特定行為	3名	2名			5名																																																																
計	4名	3名			7名																																																																
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計																																																																
特定行為	3名	2名			5名																																																																
イ 事務職員の確保と専門性の向上																																																																					
病院運営の高度化・複雑化に対応できる組織を作るため、事務職員の適切な採用及び配置を行うとともに、研修会等への参加の奨励及び支援等により、専門性と資質の向上に努める。	病院運営の高度化・複雑化に対応できる組織を作るため、事務職員の適切な採用及び配置を行うとともに、研修会等への参加の奨励及び支援等により、専門性と資質の向上に努める。	・病院運営の高度化・複雑化に対応できる組織を作るため、2名の事務職員を採用し、各課に配置することで、他業務、他職種との連携体制を構築した。また、新規採用事務職員研修を実施し、病院運営の重要性を学んだ。 ・事務職員の専門性と資質の向上のため、事務職員資格取得支援制度を策定し、令和3年度は、診療情報管理士通信教育を6名受講を開始した。	B			B																																																															

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和3年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																		
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																
<b>ウ 職員の勤務環境の改善</b>																																						
① 職員が健康を維持し、また、業務に専念できるよう、定期健康診断等の実施のほか、ストレスチェックによるメンタルヘルス対策及びハラスメント対策の充実を図る。	① 職員が健康を維持し、また、業務に専念できるよう、定期健康診断等の実施のほか、ストレスチェックによるメンタルヘルス対策及びハラスメント対策の充実を図る。	<p>・職員が健康を維持し、また、業務に専念できるよう定期健康診断を実施し、長期休業者(育休等)を除いた職員の受診率は100%であった。</p> <p>・ストレスチェックでは、より多くの職員が受検できるよう、受検方法を「紙一択」から「紙・ウェブ選択可」とし、91.1%と9割を超える職員が実施した。</p> <p>・ハラスメントの対策として、衛生委員会が主体となり、管理者向けのハラスメント防止研修会を実施した。</p> <p>【実績】ハラスメント防止セミナー(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>内容</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年10月8日</td> <td>「職場のハラスメント防止について」 講師:山形県医療勤務環境改善支援センター 平山 達也 氏</td> <td>60名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※医師職:部長級以上、看護職:副部長級以上、コメディカル:副技師長級以上、事務職:係長以上</p>	実施日	内容	参加人数	令和3年10月8日	「職場のハラスメント防止について」 講師:山形県医療勤務環境改善支援センター 平山 達也 氏	60名	B			B																										
実施日	内容	参加人数																																				
令和3年10月8日	「職場のハラスメント防止について」 講師:山形県医療勤務環境改善支援センター 平山 達也 氏	60名																																				
② 介護や子育て等、家庭環境に配慮した支援及び医師のキャリアパスに配慮した医師短時間正職員制度や育児部分休業等の制度の活用を推進し、さらに院内保育所の24時間対応や病児・病後児保育の継続など、働きやすい環境づくりを進め、職員のワーク・ライフ・バランスの向上に努める。	② 介護や子育て等、家庭環境に配慮した支援及び医師のキャリアパスに配慮した医師短時間正職員制度や育児部分休業等の制度の活用を推進し、さらに院内保育所の24時間対応や病児・病後児保育の継続など、働きやすい環境づくりを進め、職員のワーク・ライフ・バランスの向上に努める。	<p>・介護や子育て等、家庭環境に配慮した支援及び医師のキャリアパスに配慮した医師短時間正職員制度や育児部分休業等の制度の活用を推進し、さらに院内保育所の24時間対応や病児・病後児保育の継続など、働きやすい環境づくりを進め、職員のワーク・ライフ・バランスの向上に努めた。</p> <p>【実績】医師短時間職員制度等利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師短時間</td> <td>3名</td> <td>2名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>育児部分休業</td> <td>1名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>育児短時間勤務</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>育児時間</td> <td>2名</td> <td>5名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>ベビーシッター等助成金</td> <td>2名</td> <td>1名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>ハウスクリーニング等助成金</td> <td>2名</td> <td>3名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>屋外清掃作業助成金</td> <td>0名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	医師短時間	3名	2名	3名	育児部分休業	1名	0名	0名	育児短時間勤務	0名	0名	1名	育児時間	2名	5名	4名	ベビーシッター等助成金	2名	1名	0名	ハウスクリーニング等助成金	2名	3名	3名	屋外清掃作業助成金	0名	1名	1名				
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																			
医師短時間	3名	2名	3名																																			
育児部分休業	1名	0名	0名																																			
育児短時間勤務	0名	0名	1名																																			
育児時間	2名	5名	4名																																			
ベビーシッター等助成金	2名	1名	0名																																			
ハウスクリーニング等助成金	2名	3名	3名																																			
屋外清掃作業助成金	0名	1名	1名																																			
③ 医師事務作業補助者及び看護補助者等の適正な配置等により、医師をはじめ各職種の労働時間短縮・負担軽減を図り、効率的な業務遂行に努める。	③ 医師事務作業補助者及び看護補助者等の適正な配置等により、医師をはじめ各職種の労働時間短縮・負担軽減を図り、効率的な業務遂行に努める。	<p>・病棟、外来及び文書作成に医師事務作業補助者(医事クラーク)を配置し、医師をはじめとする医療従事者の負担軽減を図った。</p> <p>・医療福祉相談室に逆紹介サポート窓口を設置し、逆紹介を希望する医師に代わって、社会福祉士が患者と逆紹介について相談するための面談を215件実施することで、医師の業務負担軽減を図り、効率的な業務遂行に努めた。</p> <p>【実績】医事クラーク配置数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>69名</td> <td>68名</td> <td>70名</td> </tr> </tbody> </table>	令和元年度	令和2年度	令和3年度	69名	68名	70名																														
令和元年度	令和2年度	令和3年度																																				
69名	68名	70名																																				

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和3年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																									
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																							
(3) 医療サービスの効果的な提供																																													
ア 地域連携の推進																																													
<p>① 地域医療構想の実現及び地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画により、引き続き、人工透析の機能分担、地域フォーミュラリ、人事交流、急性期機能の集約化、訪問看護ステーションの在り方の検討等を行い、地域の医療機関及び介護、福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提供に努める。さらに、地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」をはじめとしたICTの活用などにより、地域及び医療圏を超えた広域的な医療連携の推進に努める。</p>	<p>① 地域医療構想の実現及び地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画により、引き続き、人工透析の機能分担、地域フォーミュラリ、人事交流、急性期機能の集約化、訪問看護ステーションの在り方の検討等を行い、地域の医療機関及び介護、福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提供に努める。さらに、地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」をはじめとしたICTの活用などにより、地域及び医療圏を超えた広域的な医療連携の推進に努める。</p>	<p>・地域医療構想の実現及び地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画により、引き続き、人工透析の機能分担、地域フォーミュラリ、人事交流、急性期機能の集約化、看護管理者間の連携強化、訪問看護ステーションの在り方の検討等を行い、地域の医療機関及び介護、福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提供に努めた。</p> <p>・令和3年9月からアプリを活用し、日本海ヘルスケアネット内の病院や介護施設の空床状況を医師・看護師長用iPhoneで共有することで連携を強化した。</p> <p>・地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」をはじめとしたICTの活用などにより、山形県全域および秋田県との地域及び医療圏を超えた広域的な医療連携、「あきたハートフルネット」との診療情報の相互連携を継続的に行った。</p>	A			A																																							
<p>② 地域の医療サービスを効果的に提供するため、連携協力医登録制度の活用などにより、かかりつけ医への紹介等連携を図る。日本海総合病院では、毎年度において、紹介率55%以上及び逆紹介率75%以上を達成することを目標とする。</p> <p>【目標】日本海総合病院</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>毎年度55%以上</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>毎年度75%以上</td> </tr> </tbody> </table>	目標とする指標	目標値	紹介率	毎年度55%以上	逆紹介率	毎年度75%以上	<p>② 地域の医療サービスを効果的に提供するため、連携協力医登録制度の活用などにより、かかりつけ医への紹介等連携を図る。</p> <p>【目標】日本海総合病院</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>55%以上</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>75%以上</td> </tr> </tbody> </table>	目標とする指標	目標値	紹介率	55%以上	逆紹介率	75%以上	<p>・地域の医療サービスを効果的に提供するため、連携協力医登録制度の活用などにより、かかりつけ医への紹介等連携を図った。</p> <p>【実績】紹介率、逆紹介率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>68.5%</td> <td>70.3%</td> <td>62.4%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>100.6%</td> <td>105.4%</td> <td>97.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・目標である紹介率及び逆紹介率について、目標値を大幅に上回ることができた。</p> <p>【実績】紹介率、逆紹介率(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>70.3%</td> <td>○ 62.4%</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>105.4%</td> <td>○ 97.1%</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	紹介率	68.5%	70.3%	62.4%	逆紹介率	100.6%	105.4%	97.1%	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	紹介率	70.3%	○ 62.4%	○		逆紹介率	105.4%	○ 97.1%	○		S			S
目標とする指標	目標値																																												
紹介率	毎年度55%以上																																												
逆紹介率	毎年度75%以上																																												
目標とする指標	目標値																																												
紹介率	55%以上																																												
逆紹介率	75%以上																																												
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																										
紹介率	68.5%	70.3%	62.4%																																										
逆紹介率	100.6%	105.4%	97.1%																																										
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																									
紹介率	70.3%	○ 62.4%	○																																										
逆紹介率	105.4%	○ 97.1%	○																																										
イ 診療情報の共有化、地域クリティカルパスの活用																																													
<p>① 地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」の拡大や活用促進に主体的に取り組み、他の医療機関や薬局、介護・福祉施設等との診療情報の共有化を推進する。</p>	<p>① 地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」の拡大や活用促進に主体的に取り組み、他の医療機関や薬局、介護・福祉施設等との診療情報の共有化を推進する。</p>	<p>・地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」の拡大や活用促進に主体的に取り組み、他の医療機関や薬局、介護・福祉施設等との診療情報の共有化の推進を図ったことから、前年度と比べ登録患者が5,794名増加した。</p> <p>・令和3年4月から酒田地区と鶴岡地区に分かれていた協議会を統合し、庄内医療情報ネットワーク協議会として地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」の運営を開始した。</p> <p>【実績】登録患者数等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録患者数</td> <td>43,789名</td> <td>49,337名</td> <td>55,131名</td> </tr> <tr> <td>開示施設数</td> <td>7施設</td> <td>8施設</td> <td>8施設</td> </tr> <tr> <td>閲覧施設数</td> <td>238施設</td> <td>234施設</td> <td>237施設</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	登録患者数	43,789名	49,337名	55,131名	開示施設数	7施設	8施設	8施設	閲覧施設数	238施設	234施設	237施設	A			A																							
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																										
登録患者数	43,789名	49,337名	55,131名																																										
開示施設数	7施設	8施設	8施設																																										
閲覧施設数	238施設	234施設	237施設																																										
<p>② 効率的で適切な医療を提供するため、地域連携クリティカルパスの活用を推進する。</p>	<p>② 効率的で適切な医療を提供するため、地域連携クリティカルパスの活用を推進する。</p>	<p>・効率的で適切な医療を提供するため、患者への負担軽減及び他の医療機関との機能分担を図りながら、地域連携クリティカルパスを継続して活用した。</p> <p>・地域連携クリティカルパスの運用により、他の医療・介護・福祉機関と連携し支援を行った。</p> <p>【実績】地域連携クリティカルパス適用件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大腸がん</td> <td>7件</td> <td>22件</td> <td>24件</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>13件</td> <td>11件</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>胃がん</td> <td>13件</td> <td>18件</td> <td>15件</td> </tr> <tr> <td>大腿骨近位部骨折</td> <td>120件</td> <td>100件</td> <td>102件</td> </tr> <tr> <td>脳卒中</td> <td>218件</td> <td>178件</td> <td>183件</td> </tr> <tr> <td>心臓リハビリテーション</td> <td>169件</td> <td>99件</td> <td>98件</td> </tr> <tr> <td>前立腺がん</td> <td>9件</td> <td>4件</td> <td>5件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	大腸がん	7件	22件	24件	乳がん	13件	11件	7件	胃がん	13件	18件	15件	大腿骨近位部骨折	120件	100件	102件	脳卒中	218件	178件	183件	心臓リハビリテーション	169件	99件	98件	前立腺がん	9件	4件	5件											
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																										
大腸がん	7件	22件	24件																																										
乳がん	13件	11件	7件																																										
胃がん	13件	18件	15件																																										
大腿骨近位部骨折	120件	100件	102件																																										
脳卒中	218件	178件	183件																																										
心臓リハビリテーション	169件	99件	98件																																										
前立腺がん	9件	4件	5件																																										

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和3年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																						
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																				
<b>(4) 教育研修事業の充実</b>																																										
<b>ア 庄内地域における医療水準の向上</b>																																										
庄内地域における医療水準の向上に寄与するため、引き続き、関連大学の医学生を積極的に受け入れ、また、酒田市立酒田看護専門学校の実習施設として看護師を育成するなど、質の高い医療従事者の育成に努める。さらに、救急救命士の技能向上等が図られるよう、救急救命士への実習等を行う。	① 庄内地域における医療水準の向上に寄与するため、引き続き、関連大学の医学生を積極的に受け入れ、また、酒田市立酒田看護専門学校の実習施設として看護師を育成するなど、質の高い医療従事者の育成に努める。	<p>・庄内地域における医療水準の向上に寄与するため、臨床研修医及び専攻医(レジデント)の受入れ並びに山形大学からのスチューデントドクター及び東北大学からの高次臨床修練生を継続して受け入れ、質の高い医療従事者の育成に努めた。</p> <p>【実績】臨床研修医等の受入れ状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨床研修医</td> <td>31名</td> <td>28名</td> <td>26名</td> </tr> <tr> <td>専攻医(レジデント)</td> <td>36名</td> <td>40名</td> <td>42名</td> </tr> <tr> <td>スチューデントドクター(山形大学)</td> <td>85名</td> <td>45名</td> <td>68名</td> </tr> <tr> <td>高次臨床修練生(東北大学)</td> <td>1名</td> <td>3名</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・酒田市立酒田看護専門学校の実習施設として看護師を育成するなど、質の高い医療従事者の育成に努めた。</p> <p>【実績】酒田看護専門学校実習実績(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実習学生数</td> <td>78名</td> <td>78名</td> <td>73名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】酒田看護専門学校実習実績(日本海酒田リハビリテーション病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実習学生数</td> <td>24名</td> <td>26名</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	臨床研修医	31名	28名	26名	専攻医(レジデント)	36名	40名	42名	スチューデントドクター(山形大学)	85名	45名	68名	高次臨床修練生(東北大学)	1名	3名	1名	区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	実習学生数	78名	78名	73名	区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	実習学生数	24名	26名	—	B			B
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																							
臨床研修医	31名	28名	26名																																							
専攻医(レジデント)	36名	40名	42名																																							
スチューデントドクター(山形大学)	85名	45名	68名																																							
高次臨床修練生(東北大学)	1名	3名	1名																																							
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																							
実習学生数	78名	78名	73名																																							
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																							
実習学生数	24名	26名	—																																							
	② 救急救命士の技能向上等が図られるよう、救急救命士への実習等を行う。	<p>・救急救命士の技能向上等が図られるよう、救急救命士養成課程の就業前研修、再教育実習、山形県消防学校救急科の病院実習を実施し、計41名の実習生の受入れを行った。</p> <p>【実績】実習生受入人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨床実習</td> <td>2名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>就業前研修</td> <td>3名</td> <td>1名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>再教育実習</td> <td>37名</td> <td>33名</td> <td>31名</td> </tr> <tr> <td>病院実習</td> <td>5名</td> <td>10名</td> <td>7名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>47名</td> <td>44名</td> <td>41名</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	臨床実習	2名	0名	0名	就業前研修	3名	1名	3名	再教育実習	37名	33名	31名	病院実習	5名	10名	7名	計	47名	44名	41名																
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																							
臨床実習	2名	0名	0名																																							
就業前研修	3名	1名	3名																																							
再教育実習	37名	33名	31名																																							
病院実習	5名	10名	7名																																							
計	47名	44名	41名																																							
<b>イ 住民意識の啓発活動</b>																																										
住民の健康意識の向上のため、関係機関と連携し啓発活動に努める。また、地域住民を対象としたセミナーの実施や広報誌「あきほ」の活用等を通じた、医療や健康に関する情報の発信に努める。	住民の健康意識の向上のため、関係機関と連携し啓発活動に努める。また、地域住民を対象としたセミナーの実施や広報誌「あきほ」の活用等を通じた、医療や健康に関する情報の発信に努める。	<p>・住民の健康意識向上及びがんに関する知識、情報の普及啓発を目的とし、地域住民を対象に市民公開講座を開催した。令和2年度から延期された市民公開講座を、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から集合形式での開催とはせず、録画した映像をYoutube配信する形式で在宅医療に関する市民公開講座を実施した。</p> <p>・病院広報誌「あきほ」の活用等を通して、医療や健康に関する情報を発信し、啓発活動に努めた。</p> <p>【実績】がん診療連携拠点病院公開講座 (YouTube配信)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修内容等</th> <th>視聴回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「ありがとう」と「さようなら」が一つになるとき ～在宅ホスピス医からのメッセージ～ 講師: 富士内科クリニック 院長 内藤 いづみ 氏 配信期間: 令和4年1月4日から令和4年2月28日まで</td> <td>332回</td> </tr> </tbody> </table>	研修内容等	視聴回数	「ありがとう」と「さようなら」が一つになるとき ～在宅ホスピス医からのメッセージ～ 講師: 富士内科クリニック 院長 内藤 いづみ 氏 配信期間: 令和4年1月4日から令和4年2月28日まで	332回																																				
研修内容等	視聴回数																																									
「ありがとう」と「さようなら」が一つになるとき ～在宅ホスピス医からのメッセージ～ 講師: 富士内科クリニック 院長 内藤 いづみ 氏 配信期間: 令和4年1月4日から令和4年2月28日まで	332回																																									

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和3年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																		
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																
<b>3 患者・住民の満足度の向上</b>																						
<p>① 来院者の意見等を取り入れ、院内環境等の快適性の向上、受付から会計までの在院時間の短縮等改善に努める。また、入退院支援センターの活用により入院から退院まで包括的にサポートできる体制を整備する。</p>	<p>① 来院者の意見等を取り入れ、院内環境等の快適性の向上、受付から会計までの在院時間の短縮等改善に努める。また、入退院支援センターの活用により入院から退院まで包括的にサポートできる体制を整備する。</p>	<p>・来院者の意見等を取り入れ、院内環境等の快適性の向上、受付から会計までの在院時間の短縮等改善に努めた。また、入退院支援センターの活用により入院から退院まで包括的にサポートできる体制を整備した。</p> <p>・外来看護師や事務などの関係者が、受付から会計までの在院時間の短縮等を目的としたミーティングを定期的開催し、業務フローの見直しや人員配置の変更など改善に努めた。入退院支援センターでは、令和3年11月から平日に加え、土曜日の退院時会計を開始し、退院時に医療費を支払いたいという患者や患者家族等の利便性を向上させた。</p> <p>【実績】入退院支援加算(入院時支援加算有り) 算定件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> <tr> <td>262件</td> <td>2,317件</td> <td>2,457件</td> </tr> </table> <p>※入退院支援センター: 令和2年2月17日から運用開始</p>	令和元年度	令和2年度	令和3年度	262件	2,317件	2,457件	A			A										
令和元年度	令和2年度	令和3年度																				
262件	2,317件	2,457件																				
<p>② ウェブサイト及び広報誌等を通じ、それぞれの病院及び診療所の役割等に関する情報を分かりやすく提供する。</p> <p>【目標】法人全体</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>病院広報誌発行回数</td> <td>毎年度4回</td> </tr> </table>	目標とする指標	目標値	病院広報誌発行回数	毎年度4回	<p>② ウェブサイト及び広報誌等を通じ、それぞれの病院及び診療所の役割等に関する情報を分かりやすく提供する。</p> <p>【目標】法人全体</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>病院広報誌発行回数</td> <td>4回</td> </tr> </table>	目標とする指標	目標値	病院広報誌発行回数	4回	<p>・ウェブサイト及び広報誌等を通じ、それぞれの病院や診療所の役割等に関する情報を分かりやすく提供するため、ホームページでの病院情報の発信や病院広報誌「あきほ」の発行により、地域住民に分かりやすく、かつ幅広い情報発信を行った。</p> <p>・ホームページについては、令和3年7月に日本海総合病院ホームページをリニューアルし、表示方法の統一、患者向け・医療従事者関係向けの情報整理等を行い、より分かりやすく、見やすい内容に変更した。翌月には、病院機構及び日本海酒田リハビリテーション病院ホームページも同様にリニューアルを行った。</p> <p>・目標である病院広報誌発行回数については、目標値どおり発行することができた。</p> <p>【実績】病院広報誌発行回数(法人全体)</p> <table border="1"> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> <tr> <td>4回</td> <td>〇</td> <td>4回</td> <td>〇</td> </tr> </table>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	4回	〇	4回	〇				
目標とする指標	目標値																					
病院広報誌発行回数	毎年度4回																					
目標とする指標	目標値																					
病院広報誌発行回数	4回																					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																			
4回	〇	4回	〇																			
<b>4 法令等の遵守と情報公開の推進</b>																						
<p>① 職員に対する、法令及び倫理綱領並びに適正な病院運営と業務執行等におけるコンプライアンスの周知徹底に取り組む。</p>	<p>① 職員に対する、法令及び倫理綱領並びに適正な病院運営と業務執行等におけるコンプライアンスの周知徹底に取り組む。</p>	<p>・職員研修において、法令及び倫理綱領並びに業務執行等におけるコンプライアンスの内容を周知するとともに、法令遵守、職務遂行を就業規則に規定し院内イントラネットで常時周知するなど、職員に対して周知徹底に取り組んだ。</p>	B			B																
<p>② 医療情報の開示については、山形県情報公開条例及び山形県個人情報保護条例に基づき、また文書管理については、山形県公文書等管理条例に基づき、それぞれ適切に対応する。</p>	<p>② 医療情報の開示については、山形県情報公開条例及び山形県個人情報保護条例に基づき、また文書管理については、山形県公文書等管理条例に基づき、それぞれ適切に対応する。</p>	<p>・医療情報の開示について、山形県情報公開条例及び山形県個人情報保護条例に基づき、県の機関に準じて適切に行った。</p> <p>【実績】診療情報提供申出件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> <tr> <td>40件</td> <td>43件</td> <td>59件</td> </tr> </table> <p>・文書管理についても、山形県公文書等管理条例に基づき、県の機関に準じて保存・廃棄等適切に対応した。</p>	令和元年度	令和2年度	令和3年度	40件	43件	59件														
令和元年度	令和2年度	令和3年度																				
40件	43件	59件																				
<p>③ セキュリティに関する研修会等により、適切な情報管理や情報セキュリティ対策の強化を図る。</p>	<p>③ セキュリティに関する研修会等により、適切な情報管理や情報セキュリティ対策の強化を図る。</p>	<p>・適切な情報管理や情報セキュリティ対策の強化を図るため、地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」に新規参加する介護事業者及び新たに利用開始するユーザーに対し、セキュリティ研修会を実施した。</p> <p>【実績】ちようかいネットセキュリティ研修会</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>参加状況</th> </tr> <tr> <td>新規参加介護事業者等</td> <td>18名</td> </tr> </table>	区分	参加状況	新規参加介護事業者等	18名																
区分	参加状況																					
新規参加介護事業者等	18名																					

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和3年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																																																		
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																																																
5 医療安全対策の充実・強化																																																																						
<p>住民に信頼される安全で安心な医療を提供するため、医療安全対策及び院内感染対策に関する研修を行うなど、診療プロセス全体におけるリスクマネジメントの強化を図る。</p> <table border="1"> <tr> <td>【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院</td> <td>【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院</td> </tr> <tr> <td>目標とする指標</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>医療安全対策及び院内感染対策に係る研修</td> <td>毎年度4回以上</td> </tr> </table>	【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院	【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院	目標とする指標	目標値	医療安全対策及び院内感染対策に係る研修	毎年度4回以上	<p>住民に信頼される安全で安心な医療を提供するため、医療安全対策及び院内感染対策に関する研修を行うなど、診療プロセス全体におけるリスクマネジメントの強化を図る。</p> <table border="1"> <tr> <td>【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院</td> <td>【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院</td> </tr> <tr> <td>目標とする指標</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>医療安全対策及び院内感染対策に係る研修</td> <td>4回以上</td> </tr> </table>	【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院	【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院	目標とする指標	目標値	医療安全対策及び院内感染対策に係る研修	4回以上	<p>・住民に信頼される安全で安心な医療を提供するため、医療安全対策及び院内感染対策に関する研修を行い、診療プロセス全体におけるリスクマネジメントの強化を図った。</p> <p>【実績】医療安全研修会(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>研修内容等</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年8月26日</td> <td>第1回医療安全全体研修会 『静脈血栓塞栓症の実際と予防対策』 診療部 循環器内科部長 近江 晃樹 氏</td> <td>1,146名</td> </tr> <tr> <td>令和3年10月1日</td> <td>第2回医療安全全体研修会 『院内自殺対策のための基礎知識』 診療部 精神科部長 澁谷 譲 氏</td> <td>1,152名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】院内感染対策研修会(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>研修内容等</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年11月15日 (集合研修)</td> <td>第1回院内感染対策研修会 『VREを含めた薬剤耐性菌の動向と抗菌剤の 適正使用について』 講師:国立感染症研究所薬剤耐性研究センター 第一室長 鈴木 里和 氏</td> <td>122名</td> </tr> <tr> <td>令和4年3月14日 ～令和4年4月30日 (e-ラーニング)</td> <td>第2回院内感染対策研修会 『抗菌薬を大事に使おう! AMRに立ち向かう ために①』 講師:国際国立医療研究センター 国際感染症センター 国際感染症対策室医長 忽那 賢志 氏 『こんなときどうする? 確定前から始める感染 対策④ ～薬剤耐性菌編～』 講師:箕面市立病院 感染制御部 感染管理認定看護師 四宮 聡 氏</td> <td>1,042名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】医療安全研修会(日本海酒田リハビリテーション病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>研修内容等</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年8月4日 令和3年8月18日</td> <td>第1回医療安全研修会・動画配信 多職種で取り組む転倒・転落、ヒヤリハット防止</td> <td>138名</td> </tr> <tr> <td>令和3年12月8日 令和3年12月15日</td> <td>第2回医療安全研修会・動画配信 医療ガスを安全に使用する為に</td> <td>98名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】院内感染対策研修会(日本海酒田リハビリテーション病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>研修内容等</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年7月7日 令和3年7月14日 令和3年7月21日</td> <td>第1回院内感染対策研修会・動画配信 感染経路別予防策 ～院内全体で取り組む感染対策の基礎～</td> <td>112名</td> </tr> <tr> <td>令和3年11月11日 令和3年11月17日 令和3年11月24日</td> <td>第2回院内感染対策研修会・動画配信 接触感染予防策 ～院内全体で取り組む感染対策～</td> <td>109名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・目標である医療安全対策及び院内感染対策に係る研修について、目標値どおり実施することができた。</p> <p>【実績】医療安全対策及び院内感染対策に係る研修回数 (日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4回</td> <td>○</td> <td>4回</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>(日本海酒田リハビリテーション病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4回</td> <td>○</td> <td>4回</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	研修内容等	参加人数	令和3年8月26日	第1回医療安全全体研修会 『静脈血栓塞栓症の実際と予防対策』 診療部 循環器内科部長 近江 晃樹 氏	1,146名	令和3年10月1日	第2回医療安全全体研修会 『院内自殺対策のための基礎知識』 診療部 精神科部長 澁谷 譲 氏	1,152名	開催日	研修内容等	参加人数	令和3年11月15日 (集合研修)	第1回院内感染対策研修会 『VREを含めた薬剤耐性菌の動向と抗菌剤の 適正使用について』 講師:国立感染症研究所薬剤耐性研究センター 第一室長 鈴木 里和 氏	122名	令和4年3月14日 ～令和4年4月30日 (e-ラーニング)	第2回院内感染対策研修会 『抗菌薬を大事に使おう! AMRに立ち向かう ために①』 講師:国際国立医療研究センター 国際感染症センター 国際感染症対策室医長 忽那 賢志 氏 『こんなときどうする? 確定前から始める感染 対策④ ～薬剤耐性菌編～』 講師:箕面市立病院 感染制御部 感染管理認定看護師 四宮 聡 氏	1,042名	開催日	研修内容等	参加人数	令和3年8月4日 令和3年8月18日	第1回医療安全研修会・動画配信 多職種で取り組む転倒・転落、ヒヤリハット防止	138名	令和3年12月8日 令和3年12月15日	第2回医療安全研修会・動画配信 医療ガスを安全に使用する為に	98名	開催日	研修内容等	参加人数	令和3年7月7日 令和3年7月14日 令和3年7月21日	第1回院内感染対策研修会・動画配信 感染経路別予防策 ～院内全体で取り組む感染対策の基礎～	112名	令和3年11月11日 令和3年11月17日 令和3年11月24日	第2回院内感染対策研修会・動画配信 接触感染予防策 ～院内全体で取り組む感染対策～	109名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	4回	○	4回	○	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	4回	○	4回	○	B			B
【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院	【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院																																																																					
目標とする指標	目標値																																																																					
医療安全対策及び院内感染対策に係る研修	毎年度4回以上																																																																					
【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院	【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院																																																																					
目標とする指標	目標値																																																																					
医療安全対策及び院内感染対策に係る研修	4回以上																																																																					
開催日	研修内容等	参加人数																																																																				
令和3年8月26日	第1回医療安全全体研修会 『静脈血栓塞栓症の実際と予防対策』 診療部 循環器内科部長 近江 晃樹 氏	1,146名																																																																				
令和3年10月1日	第2回医療安全全体研修会 『院内自殺対策のための基礎知識』 診療部 精神科部長 澁谷 譲 氏	1,152名																																																																				
開催日	研修内容等	参加人数																																																																				
令和3年11月15日 (集合研修)	第1回院内感染対策研修会 『VREを含めた薬剤耐性菌の動向と抗菌剤の 適正使用について』 講師:国立感染症研究所薬剤耐性研究センター 第一室長 鈴木 里和 氏	122名																																																																				
令和4年3月14日 ～令和4年4月30日 (e-ラーニング)	第2回院内感染対策研修会 『抗菌薬を大事に使おう! AMRに立ち向かう ために①』 講師:国際国立医療研究センター 国際感染症センター 国際感染症対策室医長 忽那 賢志 氏 『こんなときどうする? 確定前から始める感染 対策④ ～薬剤耐性菌編～』 講師:箕面市立病院 感染制御部 感染管理認定看護師 四宮 聡 氏	1,042名																																																																				
開催日	研修内容等	参加人数																																																																				
令和3年8月4日 令和3年8月18日	第1回医療安全研修会・動画配信 多職種で取り組む転倒・転落、ヒヤリハット防止	138名																																																																				
令和3年12月8日 令和3年12月15日	第2回医療安全研修会・動画配信 医療ガスを安全に使用する為に	98名																																																																				
開催日	研修内容等	参加人数																																																																				
令和3年7月7日 令和3年7月14日 令和3年7月21日	第1回院内感染対策研修会・動画配信 感染経路別予防策 ～院内全体で取り組む感染対策の基礎～	112名																																																																				
令和3年11月11日 令和3年11月17日 令和3年11月24日	第2回院内感染対策研修会・動画配信 接触感染予防策 ～院内全体で取り組む感染対策～	109名																																																																				
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																			
4回	○	4回	○																																																																			
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																			
4回	○	4回	○																																																																			

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和3年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																		
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置																					
1 組織マネジメントの強化、災害発生時の業務継続性の確保																						
<p>① 運営委員会、診療部代表者会議、業務改善委員会、経営会議等を通して内部統制の推進を図るとともに、自律性のある効率的な業務運営を行う。</p> <p>【目標】法人全体</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>内部監査</td> <td>毎年度2項目以上</td> </tr> </table>	目標とする指標	目標値	内部監査	毎年度2項目以上	<p>① 運営委員会、診療部代表者会議、業務改善委員会、経営会議等を通して内部統制の推進を図るとともに、自律性のある効率的な業務運営を行う。</p> <p>【目標】法人全体</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>内部監査</td> <td>2項目以上</td> </tr> </table>	目標とする指標	目標値	内部監査	2項目以上	<p>・運営委員会、診療部代表者会議、業務改善委員会、経営会議等を定期的に開催し、内部統制の推進を図った。</p> <p>・自律性のある効率的な業務運営を行うため、内部による医療費未収金集金業務及び給与の支給状況に係る会計監査を実施した。</p> <p>・目標である内部監査について、目標値どおり実施することができた。</p> <p>【実績】内部監査実施項目数 法人全体</p> <table border="1"> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> <tr> <td>2項目</td> <td>0</td> <td>2項目</td> <td>0</td> </tr> </table>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	2項目	0	2項目	0	B			B
目標とする指標	目標値																					
内部監査	毎年度2項目以上																					
目標とする指標	目標値																					
内部監査	2項目以上																					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																			
2項目	0	2項目	0																			
<p>② 災害発生時でも医療提供機能が損なわれないよう、また万が一、一時的な機能低下状態に陥っても速やかに回復できるよう、非常時の業務マネジメント体制を整備しておくとともに、BCP(業務継続計画)に基づき業務の継続性を確保する。</p>	<p>② 災害発生時でも医療提供機能が損なわれないよう、また万が一、一時的な機能低下状態に陥っても速やかに回復できるよう、非常時の業務マネジメント体制を整備しておくとともに、BCP(業務継続計画)に基づき業務の継続性を確保する。</p>	<p>・災害発生時等において、非常時の業務マネジメント体制を整備しておくとともに、BCP(業務継続計画)に基づき業務の継続性を確保できるよう、災害対策マニュアルの見直しを行った。</p>																				
2 診療体制の強化、人員配置の弾力的運用																						
<p>医療需要の変化に対応するため、医療従事者の適切な配置等を行い、診療体制の適正化を図る。また、多様な勤務形態及び専門的職種等の活用を図り、効率的な業務運営に努める。</p>	<p>医療需要の変化に対応するため、医療従事者の適切な配置等を行い、診療体制の適正化を図る。また、多様な勤務形態及び専門的職種等の活用を図り、効率的な業務運営に努める。</p>	<p>・医療需要の変化に迅速かつ的確に対応するため、定期的な人事異動により適材適所の配置に努めるとともに、診療体制の適正化を図った。</p> <p>・医師短時間正職員制度を利用することで、医師がキャリアを中断することなく安心して意欲的に勤務できるよう努めるなど、多様な勤務形態の活用を図った。</p> <p>・感染対策部門、診療録管理部門などに専門性の高い職員を配置し、効果的な業務運営を行った。</p>	B				A															
3 業務の効率化、職員の意欲向上																						
<p>① 各種委員会等において、業務プロセスの見直しや課題等への対応を適切に行い業務の効率化に努める。また、各業務においては、連携、機能分化の推進に努めるとともに、業務負担軽減に繋がるようタスクシフティングの推進等について検討する。</p>	<p>① 各種委員会等において、業務プロセスの見直しや課題等への対応を適切に行い業務の効率化に努める。また、各業務においては、連携、機能分化の推進に努めるとともに、業務負担軽減に繋がるようタスクシフティングの推進等について検討する。</p>	<p>・各種委員会等において、業務プロセスの見直しや課題等への対応を適切に行い、業務の効率化に努めた。</p> <p>【実績】業務改善委員会(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> <tr> <td>新規提案</td> <td>36件</td> <td>23件</td> <td>33件</td> </tr> <tr> <td>終了</td> <td>29件</td> <td>16件</td> <td>27件</td> </tr> </table> <p>・各業務において連携、機能分化の推進に努め、手術室においては、特定看護師を配置、麻酔アシスタント制度により臨床工学技士2名を活用し、タスクシフトを推進した。</p>	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	新規提案	36件	23件	33件	終了	29件	16件	27件	A				A			
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																			
新規提案	36件	23件	33件																			
終了	29件	16件	27件																			
<p>② 職員の能力や経験等を適切に評価し、昇任等に反映することで意欲向上を図るとともに、将来の病院運営を担う人材を育成する。</p>	<p>② 職員の能力や経験等を適切に評価し、昇任等に反映することで意欲向上を図るとともに、将来の病院運営を担う人材を育成する。</p>	<p>・職員の能力や経験を適切に評価し、昇任に反映させ意欲向上を図るとともに、将来の病院経営を担う人材を育成するため、医療職100名、事務職5名を昇任させ、リーダーシップを発揮できる人材の育成を行った。</p>																				

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和3年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																																																																					
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																																																																			
4 経営基盤の安定化																																																																																									
(1) 収入の確保																																																																																									
<p>① 診療報酬改定等をはじめ各種制度の変化に迅速に対応するため、施設基準の取得や見直しを行うとともに、DPC係数等に対する分析及び評価を適切に行い、日本海総合病院では、DPC特定病院群の適用を維持し収益の確保を図る。</p> <p>【目標】法人全体</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>DPC特定病院群適用</td> <td>期間中継続</td> </tr> </table>	目標とする指標	目標値	DPC特定病院群適用	期間中継続	<p>① 診療報酬改定等をはじめ各種制度の変化に迅速に対応するため、施設基準の取得や見直しを行うとともに、DPC係数等に対する分析及び評価を適切に行い、日本海総合病院では、DPC特定病院群の適用を維持し収益の確保を図る。</p>	<p>・診療報酬改定等をはじめ各種制度の変化に迅速に対応するため、新たな施設基準の取得や見直しを行い、増収を図った。 新規施設基準取得による増収額:5,544,400円</p> <p>・日本海総合病院ではDPC係数等に対する分析及び評価を適切に行い、令和4年度もDPC特定病院群が適用となった。また、収益の確保を図るため、経営会議にて要件の確認及び報告、院内の関係部署との連携、データ解析や運用改善を行った。</p> <p>・目標であるDPC特定病院群の維持について、目標値どおり適用することができた。</p> <p>【実施】DPC特定病院群適用(法人全体)</p> <table border="1"> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> <tr> <td>適用</td> <td>○</td> <td>適用</td> <td>○</td> </tr> </table>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	適用	○	適用	○	A			A																																																																							
目標とする指標	目標値																																																																																								
DPC特定病院群適用	期間中継続																																																																																								
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																						
適用	○	適用	○																																																																																						
<p>② 退院時会計の推進等により未収金の発生防止に努め、また、未収金が発生した場合は、多様な方法により早期回収に努める。</p>	<p>② 退院時会計の推進等により未収金の発生防止に努め、また、未収金が発生した場合は、多様な方法により早期回収に努める。</p>	<p>・入退院支援センターでの退院時会計を可能にしたことで、即日発行された会計書(平日)のうち月平均62.3%が当日中に回収された。また、土曜日に退院する患者についても令和3年12月11日より退院時会計を開始し、未収金の発生防止に努めた。</p> <p>・未収金が発生した際は、督促・催告状の発行に加え分納納入や集金の対応、弁護士法人への委託によって、早期回収に努めた。</p>																																																																																							
(2) 費用の抑制																																																																																									
<p>医療を取り巻く環境の変化や患者動向に対応し、給与水準や職員配置の適正化、業務の委託等により、人件費の適正化に努める。また、材料費についても収益の状況を常に把握しながら費用削減に努め、医薬品においては、地域フォーミュラの推進を図り後発医薬品の使用促進に努める。</p> <p>【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>後発医薬品数量シェア率</td> <td>毎年度85%以上</td> </tr> </table>	目標とする指標	目標値	後発医薬品数量シェア率	毎年度85%以上	<p>医療を取り巻く環境の変化や患者動向に対応し、給与水準や職員配置の適正化、業務の委託等により、人件費の適正化に努める。また、材料費についても収益の状況を常に把握しながら費用削減に努め、医薬品においては、地域フォーミュラの推進を図り後発医薬品の使用促進に努める。</p> <p>【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>後発医薬品数量シェア率</td> <td>85%以上</td> </tr> </table>	目標とする指標	目標値	後発医薬品数量シェア率	85%以上	<p>・医療を取り巻く環境の変化や患者動向に対応し、給与水準や職員配置の適正化、業務の委託等により人件費の適正化に努め、材料費についても、収益の状況を把握しながら費用削減に努めた。また、医薬品については、地域フォーミュラの推進を図り、後発医薬品の使用促進に努めた。</p> <p>【実績】費用に係る比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">令和元年度</th> <th colspan="3">令和2年度</th> <th colspan="3">令和3年度</th> </tr> <tr> <th>職員給与費</th> <th>材料費</th> <th>うち薬品費</th> <th>職員給与費</th> <th>材料費</th> <th>うち薬品費</th> <th>職員給与費</th> <th>材料費</th> <th>うち薬品費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海総合病院(法人管理部含む)</td> <td>42.7%</td> <td>29.3%</td> <td>16.4%</td> <td>43.4%</td> <td>28.7%</td> <td>16.3%</td> <td>44.1%</td> <td>29.1%</td> <td>16.9%</td> </tr> <tr> <td>日本海酒田リハビリテーション病院</td> <td>73.7%</td> <td>2.0%</td> <td>1.1%</td> <td>77.3%</td> <td>1.8%</td> <td>0.8%</td> <td>78.1%</td> <td>2.0%</td> <td>0.9%</td> </tr> <tr> <td>日本海八幡クリニック等</td> <td>70.9%</td> <td>16.4%</td> <td>14.7%</td> <td>54.5%</td> <td>11.1%</td> <td>9.8%</td> <td>55.6%</td> <td>10.6%</td> <td>9.2%</td> </tr> <tr> <td>病院機構全体</td> <td>44.6%</td> <td>27.8%</td> <td>15.6%</td> <td>45.4%</td> <td>27.0%</td> <td>15.4%</td> <td>46.1%</td> <td>27.4%</td> <td>15.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・目標である後発医薬品数量シェア率について、日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院とも目標値を上回るすることができた。</p> <p>【実績】後発医薬品数量シェア率</p> <p>(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> <tr> <td>89%</td> <td>○</td> <td>90%</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>(日本海酒田リハビリテーション病院)</p> <table border="1"> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> <tr> <td>89%</td> <td>○</td> <td>94%</td> <td>○</td> </tr> </table>	区分	令和元年度			令和2年度			令和3年度			職員給与費	材料費	うち薬品費	職員給与費	材料費	うち薬品費	職員給与費	材料費	うち薬品費	日本海総合病院(法人管理部含む)	42.7%	29.3%	16.4%	43.4%	28.7%	16.3%	44.1%	29.1%	16.9%	日本海酒田リハビリテーション病院	73.7%	2.0%	1.1%	77.3%	1.8%	0.8%	78.1%	2.0%	0.9%	日本海八幡クリニック等	70.9%	16.4%	14.7%	54.5%	11.1%	9.8%	55.6%	10.6%	9.2%	病院機構全体	44.6%	27.8%	15.6%	45.4%	27.0%	15.4%	46.1%	27.4%	15.9%	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	89%	○	90%	○	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	89%	○	94%	○	A			A
目標とする指標	目標値																																																																																								
後発医薬品数量シェア率	毎年度85%以上																																																																																								
目標とする指標	目標値																																																																																								
後発医薬品数量シェア率	85%以上																																																																																								
区分	令和元年度			令和2年度			令和3年度																																																																																		
	職員給与費	材料費	うち薬品費	職員給与費	材料費	うち薬品費	職員給与費	材料費	うち薬品費																																																																																
日本海総合病院(法人管理部含む)	42.7%	29.3%	16.4%	43.4%	28.7%	16.3%	44.1%	29.1%	16.9%																																																																																
日本海酒田リハビリテーション病院	73.7%	2.0%	1.1%	77.3%	1.8%	0.8%	78.1%	2.0%	0.9%																																																																																
日本海八幡クリニック等	70.9%	16.4%	14.7%	54.5%	11.1%	9.8%	55.6%	10.6%	9.2%																																																																																
病院機構全体	44.6%	27.8%	15.6%	45.4%	27.0%	15.4%	46.1%	27.4%	15.9%																																																																																
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																						
89%	○	90%	○																																																																																						
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																						
89%	○	94%	○																																																																																						

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和3年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																																																																																																																																	
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																																																																																																																															
<p>第4 予算(人件費の見積りを含む。)、収支計画及び資金計画</p> <p>効率的かつ効果的な経営を持続するため、日頃から経営状況の把握や情報共有等に努める。さらに今後の医療環境の変化に対応し、各年度における法人全体の営業収支比率及び経常収支比率の目標を次のとおり設定するとともに、資金収支の均衡を図る。</p> <p>【目標】法人全体</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>毎年度100%以上</td> </tr> <tr> <td>営業収支比率</td> <td>毎年度100%以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>中期目標を着実に達成するための予算、収支計画及び資金計画については、別表1～3のとおり見込むこととする。また、各年度において的確な資金需要予測に基づく資金計画を立て、短期借入金の抑制に努める。</p>	目標とする指標	目標値	経常収支比率	毎年度100%以上	営業収支比率	毎年度100%以上	<p>第3 予算(人件費の見積りを含む。)、収支計画及び資金計画</p> <p>効率的かつ効果的な経営を持続するため、日頃から経営状況の把握や情報共有等に努める。さらに今後の医療環境の変化に対応し、各年度における法人全体の営業収支比率及び経常収支比率の目標を次のとおり設定するとともに、資金収支の均衡を図る。</p> <p>【目標】法人全体</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>100%以上</td> </tr> <tr> <td>営業収支比率</td> <td>100%以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>中期目標を着実に達成するための予算、収支計画及び資金計画については、別表1～3のとおり見込むこととする。また、各年度において的確な資金需要予測に基づく資金計画を立て、短期借入金の抑制に努める。</p>	目標とする指標	目標値	経常収支比率	100%以上	営業収支比率	100%以上	<p>・効率的かつ効果的な経営を持続するため、運営委員会や経営会議等において、各職員へ経営状況の情報共有等を図った。</p> <p>・適切な資金計画に基づき、法人全体の資金収支の均衡や短期借入金の抑制を図った。</p> <p>・目標である経常収支比率及び営業収支比率の目標値を上回ることができた。</p> <p>【実績】経常収支比率、営業収支比率(法人全体)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>105.8%</td> <td>○</td> <td>104.6%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>営業収支比率</td> <td>105.1%</td> <td>○</td> <td>104.2%</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>1 予算及び決算 (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額(当初)</th> <th>決算額</th> <th>差額(決算 - 予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>24,794</td> <td>26,335</td> <td>1,541</td> </tr> <tr> <td>  営業収益</td> <td>22,559</td> <td>22,979</td> <td>420</td> </tr> <tr> <td>    医業収入</td> <td>21,124</td> <td>21,597</td> <td>473</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金</td> <td>1,435</td> <td>1,382</td> <td>△53</td> </tr> <tr> <td>  営業外収益</td> <td>224</td> <td>1,358</td> <td>1,134</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金等</td> <td>81</td> <td>77</td> <td>△4</td> </tr> <tr> <td>    その他</td> <td>143</td> <td>1,281</td> <td>1,138</td> </tr> <tr> <td>  資本収入</td> <td>2,001</td> <td>1,983</td> <td>△18</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金等</td> <td>1,042</td> <td>1,042</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>    補助金</td> <td>35</td> <td>52</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>    長期借入金</td> <td>918</td> <td>884</td> <td>△34</td> </tr> <tr> <td>    その他</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>△1</td> </tr> <tr> <td>その他の収入</td> <td>10</td> <td>14</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額(当初)</th> <th>決算額</th> <th>差額(決算 - 予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支出</td> <td>24,670</td> <td>25,214</td> <td>544</td> </tr> <tr> <td>  営業費用</td> <td>21,084</td> <td>22,009</td> <td>925</td> </tr> <tr> <td>    医業費用</td> <td>20,891</td> <td>21,815</td> <td>924</td> </tr> <tr> <td>      給与費</td> <td>10,537</td> <td>10,997</td> <td>460</td> </tr> <tr> <td>      材料費</td> <td>6,616</td> <td>7,092</td> <td>476</td> </tr> <tr> <td>      経費</td> <td>3,607</td> <td>3,669</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>      研究研修費</td> <td>131</td> <td>57</td> <td>△74</td> </tr> <tr> <td>    一般管理費</td> <td>193</td> <td>195</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>  営業外費用</td> <td>175</td> <td>165</td> <td>△10</td> </tr> <tr> <td>  資本支出</td> <td>3,410</td> <td>3,039</td> <td>△371</td> </tr> <tr> <td>    建設改良費</td> <td>1,544</td> <td>1,173</td> <td>△371</td> </tr> <tr> <td>    長期借入金返還金</td> <td>1,857</td> <td>1,856</td> <td>△1</td> </tr> <tr> <td>    修学資金貸付</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>    その他の費用</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※項目毎に端数処理をしているため、合計額が一致しない項目がある。</p>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	経常収支比率	105.8%	○	104.6%	○	営業収支比率	105.1%	○	104.2%	○	区分	予算額(当初)	決算額	差額(決算 - 予算)	収入	24,794	26,335	1,541	営業収益	22,559	22,979	420	医業収入	21,124	21,597	473	運営費負担金	1,435	1,382	△53	営業外収益	224	1,358	1,134	運営費負担金等	81	77	△4	その他	143	1,281	1,138	資本収入	2,001	1,983	△18	運営費負担金等	1,042	1,042	0	補助金	35	52	17	長期借入金	918	884	△34	その他	6	5	△1	その他の収入	10	14	4	区分	予算額(当初)	決算額	差額(決算 - 予算)	支出	24,670	25,214	544	営業費用	21,084	22,009	925	医業費用	20,891	21,815	924	給与費	10,537	10,997	460	材料費	6,616	7,092	476	経費	3,607	3,669	62	研究研修費	131	57	△74	一般管理費	193	195	2	営業外費用	175	165	△10	資本支出	3,410	3,039	△371	建設改良費	1,544	1,173	△371	長期借入金返還金	1,857	1,856	△1	修学資金貸付	9	9	0	その他の費用	1	1	0	A			A
目標とする指標	目標値																																																																																																																																																				
経常収支比率	毎年度100%以上																																																																																																																																																				
営業収支比率	毎年度100%以上																																																																																																																																																				
目標とする指標	目標値																																																																																																																																																				
経常収支比率	100%以上																																																																																																																																																				
営業収支比率	100%以上																																																																																																																																																				
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																																																																																	
経常収支比率	105.8%	○	104.6%	○																																																																																																																																																	
営業収支比率	105.1%	○	104.2%	○																																																																																																																																																	
区分	予算額(当初)	決算額	差額(決算 - 予算)																																																																																																																																																		
収入	24,794	26,335	1,541																																																																																																																																																		
営業収益	22,559	22,979	420																																																																																																																																																		
医業収入	21,124	21,597	473																																																																																																																																																		
運営費負担金	1,435	1,382	△53																																																																																																																																																		
営業外収益	224	1,358	1,134																																																																																																																																																		
運営費負担金等	81	77	△4																																																																																																																																																		
その他	143	1,281	1,138																																																																																																																																																		
資本収入	2,001	1,983	△18																																																																																																																																																		
運営費負担金等	1,042	1,042	0																																																																																																																																																		
補助金	35	52	17																																																																																																																																																		
長期借入金	918	884	△34																																																																																																																																																		
その他	6	5	△1																																																																																																																																																		
その他の収入	10	14	4																																																																																																																																																		
区分	予算額(当初)	決算額	差額(決算 - 予算)																																																																																																																																																		
支出	24,670	25,214	544																																																																																																																																																		
営業費用	21,084	22,009	925																																																																																																																																																		
医業費用	20,891	21,815	924																																																																																																																																																		
給与費	10,537	10,997	460																																																																																																																																																		
材料費	6,616	7,092	476																																																																																																																																																		
経費	3,607	3,669	62																																																																																																																																																		
研究研修費	131	57	△74																																																																																																																																																		
一般管理費	193	195	2																																																																																																																																																		
営業外費用	175	165	△10																																																																																																																																																		
資本支出	3,410	3,039	△371																																																																																																																																																		
建設改良費	1,544	1,173	△371																																																																																																																																																		
長期借入金返還金	1,857	1,856	△1																																																																																																																																																		
修学資金貸付	9	9	0																																																																																																																																																		
その他の費用	1	1	0																																																																																																																																																		

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和3年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																																																																																																																																										
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】		自己評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																																																																																																																								
		<b>2 収支計画</b> (単位：百万円) <table border="1" data-bbox="1418 321 2202 835"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>予算額 (当初)</th> <th>決算額</th> <th>差額 (決算 - 予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>23,316</td> <td>24,873</td> <td>1,557</td> </tr> <tr> <td>  営業収益</td> <td>23,078</td> <td>23,505</td> <td>427</td> </tr> <tr> <td>    医業収益</td> <td>21,082</td> <td>21,553</td> <td>471</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金収益</td> <td>1,435</td> <td>1,382</td> <td>△53</td> </tr> <tr> <td>    資産見返運営費負担金戻入</td> <td>561</td> <td>570</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>  営業外収益</td> <td>228</td> <td>1,355</td> <td>1,127</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金収益</td> <td>81</td> <td>77</td> <td>△4</td> </tr> <tr> <td>    その他医業外収益</td> <td>147</td> <td>1,278</td> <td>1,131</td> </tr> <tr> <td>  その他の収入</td> <td>10</td> <td>13</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>23,243</td> <td>23,773</td> <td>530</td> </tr> <tr> <td>  営業費用</td> <td>21,990</td> <td>22,559</td> <td>569</td> </tr> <tr> <td>    医業費用</td> <td>21,812</td> <td>22,387</td> <td>575</td> </tr> <tr> <td>    一般管理費</td> <td>178</td> <td>172</td> <td>△6</td> </tr> <tr> <td>  営業外費用</td> <td>1,209</td> <td>1,202</td> <td>△7</td> </tr> <tr> <td>  その他の費用</td> <td>44</td> <td>12</td> <td>△32</td> </tr> <tr> <td>純利益</td> <td>73</td> <td>1,100</td> <td>1,027</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算 - 予算)	収入	23,316	24,873	1,557	営業収益	23,078	23,505	427	医業収益	21,082	21,553	471	運営費負担金収益	1,435	1,382	△53	資産見返運営費負担金戻入	561	570	9	営業外収益	228	1,355	1,127	運営費負担金収益	81	77	△4	その他医業外収益	147	1,278	1,131	その他の収入	10	13	3	支出	23,243	23,773	530	営業費用	21,990	22,559	569	医業費用	21,812	22,387	575	一般管理費	178	172	△6	営業外費用	1,209	1,202	△7	その他の費用	44	12	△32	純利益	73	1,100	1,027																																																																							
区 分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算 - 予算)																																																																																																																																											
収入	23,316	24,873	1,557																																																																																																																																											
営業収益	23,078	23,505	427																																																																																																																																											
医業収益	21,082	21,553	471																																																																																																																																											
運営費負担金収益	1,435	1,382	△53																																																																																																																																											
資産見返運営費負担金戻入	561	570	9																																																																																																																																											
営業外収益	228	1,355	1,127																																																																																																																																											
運営費負担金収益	81	77	△4																																																																																																																																											
その他医業外収益	147	1,278	1,131																																																																																																																																											
その他の収入	10	13	3																																																																																																																																											
支出	23,243	23,773	530																																																																																																																																											
営業費用	21,990	22,559	569																																																																																																																																											
医業費用	21,812	22,387	575																																																																																																																																											
一般管理費	178	172	△6																																																																																																																																											
営業外費用	1,209	1,202	△7																																																																																																																																											
その他の費用	44	12	△32																																																																																																																																											
純利益	73	1,100	1,027																																																																																																																																											
		<b>3 資金計画</b> (単位：百万円) <table border="1" data-bbox="1397 877 2211 1957"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>予算額 (当初)</th> <th>決算額</th> <th>差額 (決算 - 予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資金収入</td> <td>37,281</td> <td>43,425</td> <td>6,144</td> </tr> <tr> <td>  業務活動による収入</td> <td>22,828</td> <td>24,754</td> <td>1,926</td> </tr> <tr> <td>    診療業務による収入</td> <td>21,124</td> <td>21,548</td> <td>424</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金による収入</td> <td>1,516</td> <td>1,444</td> <td>△72</td> </tr> <tr> <td>    補助金等収入</td> <td>104</td> <td>1,630</td> <td>1,526</td> </tr> <tr> <td>    その他の業務活動による収入</td> <td>84</td> <td>132</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>  投資活動による収入</td> <td>6,606</td> <td>10,304</td> <td>3,698</td> </tr> <tr> <td>    有価証券の売却による収入</td> <td>2,000</td> <td>2,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金による収入</td> <td>0</td> <td>1,042</td> <td>1,042</td> </tr> <tr> <td>    補助金等収入</td> <td>0</td> <td>55</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>    定期預金の払出による収入</td> <td>4,600</td> <td>7,200</td> <td>2,600</td> </tr> <tr> <td>    奨学金の返還による収入</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>    その他の投資活動による収入</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>  財務活動による収入</td> <td>1,960</td> <td>884</td> <td>△1,076</td> </tr> <tr> <td>    長期借入による収入</td> <td>918</td> <td>884</td> <td>△34</td> </tr> <tr> <td>    金銭出資の受入による収入</td> <td>1,042</td> <td>0</td> <td>△1,042</td> </tr> <tr> <td>前年度からの繰越金</td> <td>5,887</td> <td>7,483</td> <td>1,596</td> </tr> <tr> <td>資金支出</td> <td>31,095</td> <td>37,112</td> <td>6,017</td> </tr> <tr> <td>  業務活動による支出</td> <td>21,084</td> <td>21,721</td> <td>637</td> </tr> <tr> <td>    給与費支出</td> <td>10,537</td> <td>10,604</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>    材料費支出</td> <td>6,616</td> <td>7,081</td> <td>465</td> </tr> <tr> <td>    その他の業務活動による支出</td> <td>3,931</td> <td>4,036</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>  投資活動による支出</td> <td>8,154</td> <td>13,534</td> <td>5,380</td> </tr> <tr> <td>    有形固定資産の取得による支出</td> <td>1,544</td> <td>1,265</td> <td>△279</td> </tr> <tr> <td>    無形固定資産の取得による支出</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>    有価証券の取得による支出</td> <td>2,000</td> <td>3,151</td> <td>1,151</td> </tr> <tr> <td>    定期預金の預入による支出</td> <td>4,600</td> <td>9,100</td> <td>4,500</td> </tr> <tr> <td>    奨学金の貸付による支出</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>    その他の投資活動による支出</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>  財務活動による支出</td> <td>1,857</td> <td>1,857</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>    長期借入の返済による支出</td> <td>1,172</td> <td>1,172</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>    移行前地方債償還債務等の償還による支出</td> <td>685</td> <td>685</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>翌年度への繰越金</td> <td>6,186</td> <td>6,313</td> <td>127</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算 - 予算)	資金収入	37,281	43,425	6,144	業務活動による収入	22,828	24,754	1,926	診療業務による収入	21,124	21,548	424	運営費負担金による収入	1,516	1,444	△72	補助金等収入	104	1,630	1,526	その他の業務活動による収入	84	132	48	投資活動による収入	6,606	10,304	3,698	有価証券の売却による収入	2,000	2,000	0	運営費負担金による収入	0	1,042	1,042	補助金等収入	0	55	55	定期預金の払出による収入	4,600	7,200	2,600	奨学金の返還による収入	5	5	0	その他の投資活動による収入	1	2	1	財務活動による収入	1,960	884	△1,076	長期借入による収入	918	884	△34	金銭出資の受入による収入	1,042	0	△1,042	前年度からの繰越金	5,887	7,483	1,596	資金支出	31,095	37,112	6,017	業務活動による支出	21,084	21,721	637	給与費支出	10,537	10,604	67	材料費支出	6,616	7,081	465	その他の業務活動による支出	3,931	4,036	105	投資活動による支出	8,154	13,534	5,380	有形固定資産の取得による支出	1,544	1,265	△279	無形固定資産の取得による支出	0	8	8	有価証券の取得による支出	2,000	3,151	1,151	定期預金の預入による支出	4,600	9,100	4,500	奨学金の貸付による支出	9	9	0	その他の投資活動による支出	1	1	0	財務活動による支出	1,857	1,857	0	長期借入の返済による支出	1,172	1,172	0	移行前地方債償還債務等の償還による支出	685	685	0	翌年度への繰越金	6,186	6,313	127			
区 分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算 - 予算)																																																																																																																																											
資金収入	37,281	43,425	6,144																																																																																																																																											
業務活動による収入	22,828	24,754	1,926																																																																																																																																											
診療業務による収入	21,124	21,548	424																																																																																																																																											
運営費負担金による収入	1,516	1,444	△72																																																																																																																																											
補助金等収入	104	1,630	1,526																																																																																																																																											
その他の業務活動による収入	84	132	48																																																																																																																																											
投資活動による収入	6,606	10,304	3,698																																																																																																																																											
有価証券の売却による収入	2,000	2,000	0																																																																																																																																											
運営費負担金による収入	0	1,042	1,042																																																																																																																																											
補助金等収入	0	55	55																																																																																																																																											
定期預金の払出による収入	4,600	7,200	2,600																																																																																																																																											
奨学金の返還による収入	5	5	0																																																																																																																																											
その他の投資活動による収入	1	2	1																																																																																																																																											
財務活動による収入	1,960	884	△1,076																																																																																																																																											
長期借入による収入	918	884	△34																																																																																																																																											
金銭出資の受入による収入	1,042	0	△1,042																																																																																																																																											
前年度からの繰越金	5,887	7,483	1,596																																																																																																																																											
資金支出	31,095	37,112	6,017																																																																																																																																											
業務活動による支出	21,084	21,721	637																																																																																																																																											
給与費支出	10,537	10,604	67																																																																																																																																											
材料費支出	6,616	7,081	465																																																																																																																																											
その他の業務活動による支出	3,931	4,036	105																																																																																																																																											
投資活動による支出	8,154	13,534	5,380																																																																																																																																											
有形固定資産の取得による支出	1,544	1,265	△279																																																																																																																																											
無形固定資産の取得による支出	0	8	8																																																																																																																																											
有価証券の取得による支出	2,000	3,151	1,151																																																																																																																																											
定期預金の預入による支出	4,600	9,100	4,500																																																																																																																																											
奨学金の貸付による支出	9	9	0																																																																																																																																											
その他の投資活動による支出	1	1	0																																																																																																																																											
財務活動による支出	1,857	1,857	0																																																																																																																																											
長期借入の返済による支出	1,172	1,172	0																																																																																																																																											
移行前地方債償還債務等の償還による支出	685	685	0																																																																																																																																											
翌年度への繰越金	6,186	6,313	127																																																																																																																																											

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和3年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価		
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価
第5 短期借入金の限度額	第4 短期借入金の限度額					
1 限度額 4,000百万円 2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等による一時的な資金不足への対応	1 限度額 4,000百万円 2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等による一時的な資金不足への対応	・短期借入金の実績なし	S			S
第6 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画 なし			—			—
第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画 なし			—			—
第8 剰余金の使途	第5 剰余金の使途					
決算において剰余を生じた場合は、施設の整備・修繕、医療機器の購入、人材育成及び能力開発の充実等に充てる。	決算において剰余を生じた場合は、施設の整備・修繕、医療機器の購入、人材育成及び能力開発の充実等に充てる。	・決算剰余金については、建設改良積立金に充当し、将来の施設整備及び医療機器の整備に備えた。	A			A
第9 料金に関する事項	第6 料金に関する事項					
1 使用料及び手数料 (1)法令等に基づき算定する使用料及び手数料 病院を利用する者からは、使用料及び手数料として次に掲げる額を徴収する。 ア 健康保険法(大正11年法律第70号)、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)、介護保険法(平成9年法律第123号)その他の法令等に基づき算定した額 (2)その他の使用料及び手数料 前項の規定でない使用料及び手数料の額は、次に定めるところによる。 ア 山形労働局、地方公務員災害補償基金山形県支部その他の団体等との間における診療契約によるものについては、その契約の定める額 イ 前号以外にあつては、理事長が別に定める額 2 使用料及び手数料の減免 理事長が、特別の事情があると認めるときは、使用料及び手数料の全部又は一部を減免することができるものとする。	1 使用料及び手数料 (1)法令等に基づき算定する使用料及び手数料 病院を利用する者からは、使用料及び手数料として次に掲げる額を徴収する。 ア 健康保険法(大正11年法律第70号)、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)、介護保険法(平成9年法律第123号)その他の法令等に基づき算定した額 (2)その他の使用料及び手数料 前項の規定でない使用料及び手数料の額は、次に定めるところによる。 ア 山形労働局、地方公務員災害補償基金山形県支部その他の団体等との間における診療契約によるものについては、その契約の定める額 イ 前号以外にあつては、理事長が別に定める額 2 使用料及び手数料の減免 理事長が、特別の事情があると認めるときは、使用料及び手数料の全部又は一部を減免することができるものとする。	・料金の額は、計画に記載の基準等の規定により算定した額を徴収した。  ・計画に記載の契約等による額とした。  ・該当なし	B			B

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和3年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																										
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																								
第10 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項	第7 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項																													
1 医療機器・施設整備に関する事項	1 医療機器・施設整備に関する事項																													
① 医療機器については、費用対効果、地域の医療需要、他機関との機能分担、医療技術の進展等、総合的に判断して整備する。施設整備については、これらに加え、老朽化の状況や緊急度、災害に対する耐性等を踏まえつつ、中長期的な視点のもと施設の長寿命化に向けた検討を行いながら、計画的に実施する。また日本海八幡クリニック等診療所については、酒田市と協議を行いながら医療機器・施設整備を図る。	① 医療機器については、費用対効果、地域の医療需要、他機関との機能分担、医療技術の進展等、総合的に判断して整備する。 ② 施設整備については、老朽化の状況や緊急度、災害に対する耐性等を踏まえつつ、中長期的な視点のもと施設の長寿命化に向けた検討を行いながら、計画的に実施する。また日本海八幡クリニック等診療所については、酒田市と協議を行いながら医療機器・施設整備を図る。	<p>・医療機器については、費用対効果、地域の医療需要、他機関との機能分担、医療技術の進展等総合的に判断し、心臓超音波診断装置、透析供給システム、腹腔用手術システムの更新や、手術器具等の整備をし、適切な医療の確保に努めた。</p> <p>・施設整備について、中長期計画に従い、緊急度が高い設備の修繕工事を行った。</p> <p>【実績】修繕工事(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名</th> <th>契約額(円)</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空調機ユニット更新工事</td> <td>39,600,000</td> <td>耐用年数の超過及び塩害により劣化している空調機の更新</td> </tr> <tr> <td>空調自動制御装置更新工事</td> <td>110,000,000</td> <td>耐用年数の超過及び部品供給が終了している空調自動制御装置の更新</td> </tr> <tr> <td>ファンコイルユニット更新工事</td> <td>6,820,000</td> <td>耐用年数の超過により劣化しているファンコイルユニットの更新</td> </tr> </tbody> </table> <p>・日本海酒田リハビリテーション病院での医療機器・施設整備等はなかった。 ・日本海八幡クリニック等診療所については、診療機能の維持、地域での需要、費用対効果等を総合的に判断し、血圧脈波測定装置を更新した。また、松山診療所では、医事会計システムの更新と電子カルテを導入し、診療の効率化を図った。</p>	工事名	契約額(円)	概要	空調機ユニット更新工事	39,600,000	耐用年数の超過及び塩害により劣化している空調機の更新	空調自動制御装置更新工事	110,000,000	耐用年数の超過及び部品供給が終了している空調自動制御装置の更新	ファンコイルユニット更新工事	6,820,000	耐用年数の超過により劣化しているファンコイルユニットの更新	A			B												
工事名	契約額(円)	概要																												
空調機ユニット更新工事	39,600,000	耐用年数の超過及び塩害により劣化している空調機の更新																												
空調自動制御装置更新工事	110,000,000	耐用年数の超過及び部品供給が終了している空調自動制御装置の更新																												
ファンコイルユニット更新工事	6,820,000	耐用年数の超過により劣化しているファンコイルユニットの更新																												
	③ 地域の医療ニーズに対応するよう、今後の診療提供体制等の検討及び整備等を図る。	<p>・地域の医療ニーズに対応するため、新型コロナウイルス感染症における重点医療機関として積極的な感染症患者の受入れと院内感染防止を図り、新型コロナウイルス感染症患者の専用病棟41床(うち重症者用病床8床)を設置し、診療提供体制等の整備を行った。また、令和3年8月より酒田市からの依頼を受け、新型コロナウイルスワクチン個別接種を実施した。</p> <p>【実績】新型コロナウイルスワクチン個別接種実施数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>1回目</th> <th>2回目</th> <th>3回目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海総合病院</td> <td>1,525名</td> <td>1,518名</td> <td>374名</td> </tr> <tr> <td>日本海酒田リハビリテーション病院</td> <td>83名</td> <td>92名</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>日本海八幡クリニック</td> <td>1,720名</td> <td>1,673名</td> <td>1,368名</td> </tr> <tr> <td>松山診療所</td> <td>298名</td> <td>247名</td> <td>349名</td> </tr> <tr> <td>飛島診療所</td> <td>141名</td> <td>142名</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	区分	1回目	2回目	3回目	日本海総合病院	1,525名	1,518名	374名	日本海酒田リハビリテーション病院	83名	92名	—	日本海八幡クリニック	1,720名	1,673名	1,368名	松山診療所	298名	247名	349名	飛島診療所	141名	142名	—				
区分	1回目	2回目	3回目																											
日本海総合病院	1,525名	1,518名	374名																											
日本海酒田リハビリテーション病院	83名	92名	—																											
日本海八幡クリニック	1,720名	1,673名	1,368名																											
松山診療所	298名	247名	349名																											
飛島診療所	141名	142名	—																											
② 高額な医療機器・施設整備の更新及び整備については、償還等の負担を十分に考慮し、中長期的な投資計画(整備計画)のもとに行う。中期計画期間に係る医療機器・施設整備に関する計画は、別表4のとおりとする。		<p>・高額な医療機器・施設整備の更新及び整備について、償還等の負担を十分に考慮し、中長期的な整備計画のもとに行い、計画どおりの更新・整備が実施できた。</p> <p>【医療機器・施設設備の計画】 (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実績</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資本支出</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建設改良費</td> <td>1,173</td> <td>設立団体からの長期借入金等</td> </tr> <tr> <td>施設整備</td> <td>328</td> <td></td> </tr> <tr> <td>医療機器等</td> <td>845</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	実績	財源	資本支出			建設改良費	1,173	設立団体からの長期借入金等	施設整備	328		医療機器等	845														
区分	実績	財源																												
資本支出																														
建設改良費	1,173	設立団体からの長期借入金等																												
施設整備	328																													
医療機器等	845																													
2 法人が負担する債務の償還に関する事項																														
3 積立金の使途	2 積立金の使途																													
前中期目標期間の繰越積立金については、施設の整備・修繕、医療機器の購入、人材育成及び能力開発の充実等に充てる。	前中期目標期間の繰越積立金については、施設の整備・修繕、医療機器の購入、人材育成及び能力開発の充実等に充てる。	<p>・前中期目標期間の繰越積立金については、施設の整備・修繕、医療機器の購入等に充てた。</p>	B			B																								

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和3年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価																														
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																												
4 その他法人の業務運営に関する事項	3 その他法人の業務運営に関する事項																																	
① 酒田市、公益財団法人やまがた健康推進機構及び診療所等との連携により、がん検診をはじめ地域の検診体制の充実を図る。	① 酒田市、公益財団法人やまがた健康推進機構及び診療所等との連携により、がん検診をはじめ地域の検診体制の充実を図る。	<p>・酒田市・公益財団法人やまがた健康推進機構および診療所等との連携、機能分担のもと、がん検診をはじめ地域の検診実施体制の充実を図った。</p> <p>・酒田市が実施している「内視鏡ドック」のうち、胸部CT、上部内視鏡検査、下部内視鏡検査を受託し、実施した。また、当院での「PET/CT検診」を行うことで、検診体制の充実を図った。</p> <p>【実績】検診等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内視鏡ドック</td> <td>93件</td> <td>80件</td> <td>78件</td> </tr> <tr> <td>PET/CT検診</td> <td>47件</td> <td>53件</td> <td>46件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・酒田市のふるさと納税ドックは、新型コロナウイルス感染拡大で延期となっていた令和元年度申込の患者1名を実施した。</p> <p>【実績】ふるさと納税</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1泊2日(ドック)</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>2泊3日(ドック、PET)</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>PET/CT(半日)</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	内視鏡ドック	93件	80件	78件	PET/CT検診	47件	53件	46件	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	1泊2日(ドック)	0件	0件	1件	2泊3日(ドック、PET)	0件	0件	0件	PET/CT(半日)	0件	0件	0件	B			B
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																															
内視鏡ドック	93件	80件	78件																															
PET/CT検診	47件	53件	46件																															
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																															
1泊2日(ドック)	0件	0件	1件																															
2泊3日(ドック、PET)	0件	0件	0件																															
PET/CT(半日)	0件	0件	0件																															
② 病児・病後児保育については、「庄内北部定住自立圏形成協定」により、酒田市以外に在住の乳幼児等も受入れを行い、また、事前に医療機関の診察を受けていない利用者の受入れ及び保育園等からの送迎サービスを行う。	② 病児・病後児保育については、「庄内北部定住自立圏形成協定」により、酒田市以外に在住の乳幼児等も受入れを行い、また、事前に医療機関の診察を受けていない利用者の受入れ及び保育園等からの送迎サービスを行う。	<p>・病児・病後児保育事業を酒田市から受託し、「庄内北部定住自立圏形成協定」により三川町、庄内町及び遊佐町に在住の乳幼児等も受け入れる体制を整え、日曜日、祝日、年末年始休業(12/29～1/3)を除き、通年で事業を継続して実施した。</p> <p>【実績】病児・病後児保育事業延べ利用者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>395名</td> <td>292名</td> <td>542名</td> </tr> <tr> <td>うち職員利用者数</td> <td>95名</td> <td>153名</td> <td>235名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・病児・病後児保育について、定員9名とし、当日予約の受入れや事前に医療機関の診察を受けていない利用者の受診付添いサービス及び保育園等からの病児送迎サービスを実施した。</p> <p>【実績】受診付添サービス等利用者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診付添サービス</td> <td>6名</td> <td>3名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>病児送迎サービス</td> <td>2名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和元年度からサービス開始</p>	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	利用者数	395名	292名	542名	うち職員利用者数	95名	153名	235名	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	受診付添サービス	6名	3名	3名	病児送迎サービス	2名	0名	1名	B			B				
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																															
利用者数	395名	292名	542名																															
うち職員利用者数	95名	153名	235名																															
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																															
受診付添サービス	6名	3名	3名																															
病児送迎サービス	2名	0名	1名																															
		S: 計画を大幅に上回っている(目標数値110%超)	6	0		4																												
		A: 計画を上回っている(目標数値100%超110%以下)	18	0		19																												
		B: 計画に概ね合致している(目標数値90%超100%以下)	18	0		19																												
		C: 計画をやや下回っている(目標数値60%超90%以下)	0	0		0																												
		D: 計画を下回っており、大幅な改善が必要(目標数値60%以下)	0	0		0																												
		計	42	0		42																												